

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	八重瀬町外国語指導強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3		
事業内容	国際化に柔軟に対応できる力を養うため、授業を行いながら外国語にふれることでグローバルな人材育成を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（報酬）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,064	11,923	14,398	14,246	14,163
		(b) 予算現額	8,809	11,923	13,935	14,246	13,099
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,255	0	▲ 463	0	▲ 1,064
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		8,809	11,923	13,935	14,246	13,099
	B. 執行済額		8,809	11,923	13,935	13,656	13,099
	うち交付金充当額		7,047	9,539	11,148	10,925	10,479
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	95.9%	100.0%
予算の状況の説明		当初計画より減額となったが授業時数等の減に伴うものである。それ以外は計画通りに外国語指導助手・英語指導助手を配置し、計画通りの執行となった。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・外国語指導助手：3人 4園4小	目標	（ 幼小へ配置 ）	（ 幼小へ配置 ）	（ 4園4小へ配置 ）	（ 4園4小へ配置 ）	
		実績	配置済み	配置済み	4園4小配置済み	4園4小配置済み	
・英語指導助手：2人 （2中へそれぞれ配置）	目標	（ 2人 ）	（ 2人 ）	（ 2人 ）	（ 2人 ）		
	実績	2人配置済み	2人配置済み	2人配置済み	2人配置済み		
達成状況説明	外国語指導助手は3人パート契約として町内の4園4小へ4月7日より3月24日までの契約で配置。英語指導助手2人嘱託員として町内の2中へ4月1日より3月31日までの契約で配置。合計5人を計画通り配置した。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）		基準値（25年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
	H28年度数 4小学校(5.6年生)620人、及び2中学校985人うち検定希望者。	目標	（ 中学校940人中 ）	（ 受講者数 幼稚園269人 小学校646人 中学校938人 ）	（ 受講者数 幼稚園269人 小学校646人 中学校938人 ）	（ 受講者数 4小学校(5.6年生)620人 2中学校985人 ）	（ ）
		実績	289人中 172人が合格	（ 受講者数 幼稚園269人 小学校646人 中学校938人 ）	（ 受講者数 幼稚園292人 小学校641人 中学校942人 ）	（ 受講者数 小学校620人 中学校986人 ）	（ ）
	・配置率100%	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 100% （5人配） ）	（ ）
		実績				（ 100% （5人配置） ）	（ ）
	英語検定受検者中8割合格	目標	（ 英検8割合格 ）	（ 英検8割合格 ）	（ 英検8割合格 ）	（ 英検8割合格 ）	（ ）
実績		合格率59.5% 未達成	55%合格 未達成	合格率62.6% 未達成	合格率59.7% 未達成	（ ）	
進捗状況説明	外国語指導助手を3人及び英語指導助手を2名配置計5名を目標どおり配置し、幼稚園や小学校低学年においては、外国人講師とのふれ合いや異文化交流を通して、今後導入される小学校3年生への英語教育を推進する。中学校に於いてはネイティブスピーカーの外国人講師を引き続き各学校へ配置し、基本的なコミュニケーションの手法や文法の理解を深めている。英語検定については、中学生全生徒985人中253人が受験し、151人が合格したが、合格率の目標値を下回った理由として、話す力を重点にしている指導方法のため、英文を書く力が身につけていないのが要因。しかし、英語を使って、児童・生徒が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されている。						

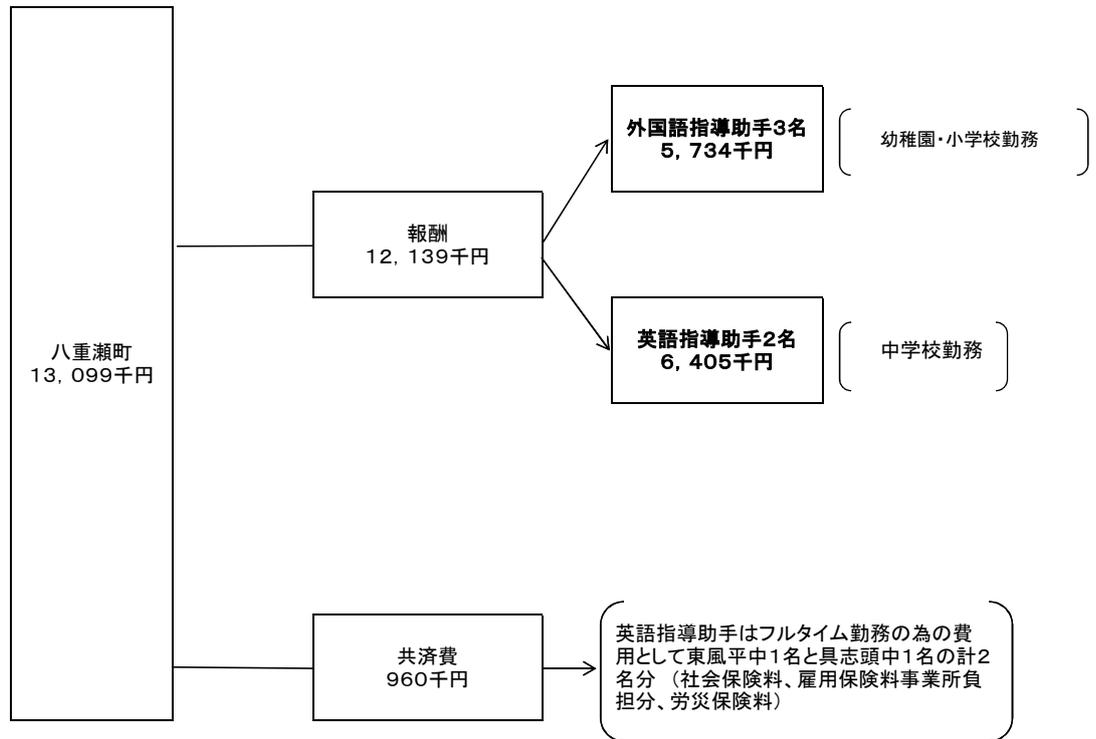
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり外国語指導助手と英語指導助手を配置し、総合計画に基づき幼稚園児には、異文化交流を推進し、小中学生には国際理解やコミュニケーション能力の向上を目的に取り組んだ。 ・ここ数年英検受験者はいるものの英検受験者が目標の8割合格までには届いていない状況が続いている。中学生には英検受験はいるが、幼小については受験が進んでない現状がある。しかし継続的な配置を行い、外国語に対し興味関心を持ってもらうためにも、引き続き推進し、英語検定へのチャレンジによる学習意欲の高揚を図る。 ・今回アンケートが実施できなかった。年度ごとに人員も入れ替わり、それに係る研修会や指導に時間を費やしたため、アンケートを実施する時間を割くことが出来ず、そのため次年度に先送りすることとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小に英検受験の案内など周知をさせ、粘り強く推進を行う ・幼小中に対し、年2回(夏・冬)アンケート調査を行い指標となる数値を図る。 ・指導主事や各学校の英語担当教諭と派遣講師との情報交換を行う。

今後の取り組み方針

・今回アンケート調査が実施できなかったため平成29年度にアンケート調査を年2回実施をし、子ども達の変化や意見等を基に指導主事や英語担当教諭、派遣講師との授業改善に繋げる。
 ・引き続き幼小中の外国語指導助手、英語指導助手を配置して英検の受験案内を引き続き行い、受験率のアップを図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,099	13,099	10,479	2,620	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、八重瀬町嘱託員規程に基づき面接採用しており支出に関しても妥当なものと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても、当初予算よりは減額があったものの適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する出動簿等により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	八重瀬町パソコン指導強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3	
事業内容	パソコン操作の能力向上を強化するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（報酬）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		6,614	6,632	7,742	7,655	7,970
			4,271	6,632	7,424	7,872	7,877
			▲ 2,343	0	▲ 318	217	▲ 93
			－	－	－	－	－
		4,271	6,632	7,424	7,872	7,877	
	B. 執行済額	4,271	6,632	7,424	7,872	7,877	
	うち交付金充当額	3,417	5,305	5,939	6,297	6,301	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	授業時数の変更分であり、計画通りの執行となった。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）	達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	パソコン指導員配置数：4名 （小学校に2名配置・中学校に2名配置）	目標	（ 小2名中2名配置 ）	（ 小2名中2名配置 ）	（ パソコン指導員配置 小学校2名 中学校2名 ）	（ パソコン指導員配置 小学校2名 中学校2名 ）	
		実績	配置済み	配置済み	配置済み	配置済み	
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績						
達成状況説明	パソコン指導員を4人雇用し、4月7日より3月24日までの契約で配置。東風平小学校と新城小学校での兼務を1名、白川小学校と具志頭小学校での兼務を1名、東風平中学校へ1名、具志頭中学校へ1名の合計4名を計画通り配置した。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）	基準値（25年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）	
	・H28年度 3,067人	目標	（ 13人中12人が合格 ）	（ 小学校1,940人 中学校938人 ）	（ 小学校1,940人 中学校938人 ）	（ 児童生徒数 3,067人 ）	（ ）
		実績	合格率92.3%	小学校1,940人 中学校938人	小学校2,007人 中学校942人	小学校2,048人 中学校965人	
	・配置率100%	目標	（ ）	（ ）	（ ）	100% （4人配置）	（ ）
		実績				100% （4人配置）	
	ワープロ検定、受験者中8割合格	目標	（ 8割 ）	（ 受験者中8割合格 ）	（ 受験者中8割合格 ）	（ 受験者中8割合格 ）	（ ）
実績		達成	73.7% 未達成	76.1% 未達成	80.0% 達成		
進捗状況説明	パソコン指導員を4人目標どおり配置し、4小学校2,048人と2中学校965人で年度途中で転入・転出があり目標との差は若干あるものの小中学校生徒児童計3013名全生徒がPCの授業を受講し目標を達成した。受講者の中から、昨年度に比べ検定受験者は減ったものの、合格率は80.0%で目標を達成した。情報モラル教育などを通常の授業を通して教えながら、児童生徒への興味をもたせ、受益者負担で全生徒に強制はできないが、検定を受講するよう促す。						

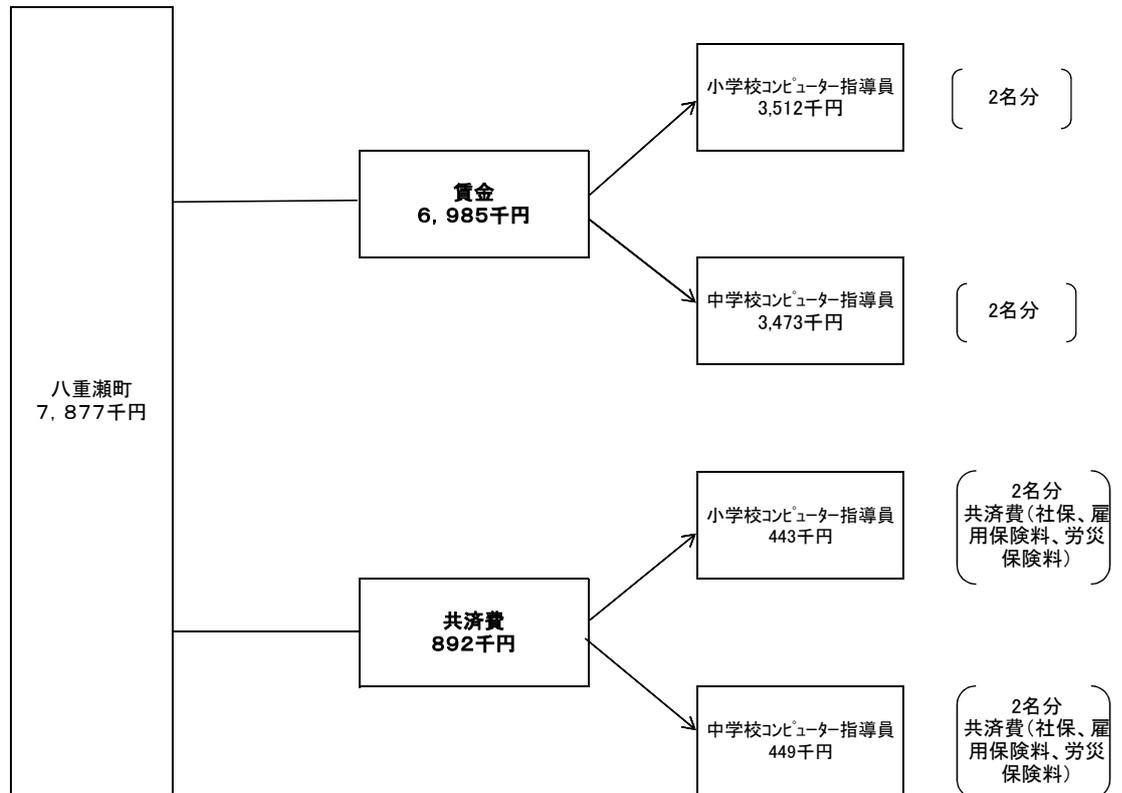
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・計画とおり指導員を配置し、総合計画に基づきパソコンの習熟などの情報化教育を目的に取り組んだ。 ・検定受験者が減ったことに関し、情報教育を中心に指導を行っており、その合間をぬって入力速度を速めるためにタイピングの練習をしているが、完全ではないために検定受験に結びついていないのが現状である。 ・今回アンケートが実施できなかった、要因は年度ごとに人員も入れ替わり、それに係る研修会や、指導等に時間を費やしたため、アンケートを実施する時間を割くことが出来ず、そのため次年度に先送りすることとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検定は受益者負担という観点から強制はできないものの、粘り強く推進を行う。 ・小中に対し正式な検定ではないが、独自で作成した簡易な習熟度テストの導入をできるよう努める。 ・小中に対し、年2回(夏・冬)アンケート調査を行い指標となる数値を図る。

今後の取り組み方針

- ・今回アンケート調査が実施できなかったため平成29年度にアンケート調査を年2回実施し、子ども達の変化や意見等を基に指導主事、派遣講師との授業改善に繋げる。
- ・独自で作成した習熟度テストを導入できるように検討を行い、検定と同時進行で児童生徒の変化を形にする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,877	7,877	6,301	1,576	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、面接選考採用し、支出については八重瀬町規則に基づき支出しており妥当なものと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても、当初予算よりは増額になったが、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する出動簿等により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

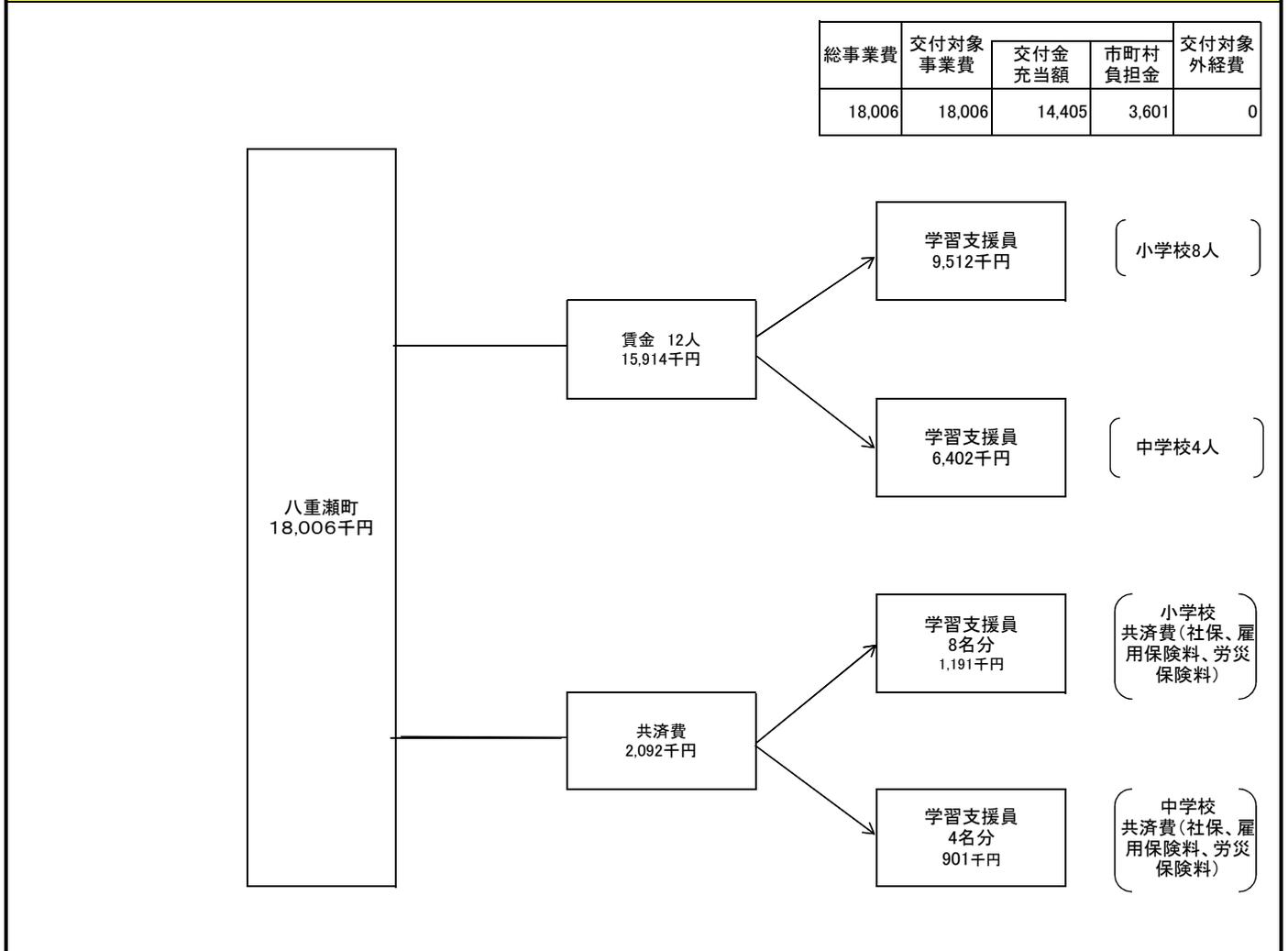
市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④		八重瀬町学力向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
	担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課		事業実施（予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3
事業内容		学習の遅れがある児童生徒への学習指導を通して、児童ひとり一人の学習意欲を高め学力向上のため、小学校及び中学校に学習支援員を配置する。					
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（賃金）					
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,280	25,280	30,621	31,880	
		(b) 予算現額	12,280	25,280	23,473	18,006	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 7,148	▲ 13,874	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
		A. 計 (b+d)	12,280	25,280	23,473	18,006	
	B. 執行済額		12,280	25,280	20,830	18,006	
	うち交付金充当額		9,824	20,224	16,663	14,405	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	88.7%	100.0%	
予算の状況の説明		年度当初の計画では4月より16名の配置であったが、思うように人員が確保できなかった。9月頃より徐々にではあるが、採用人数を増やしてきた。しかし、年度内の採用や退職などもあり、年間を通して最大12名の雇用であったため補正減額を行った。					
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	学習支援員配置数：16人（小学校10人）（中学校6人）		目標 (8人配置)	(小学校10人 中学校6人)	(小学校10人 中学校6人)	(小学校10人 中学校6人)	
			実績 8人配置	小学校10人 中学校6人	小学校9人 中学校7人	小学校8人 中学校4人	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		当初計画4月7日から3月24日までの契約で小学校へ10人と中学校6人の配分であったが、学校の実情に応じながら調整し、小学校へ8名、中学校へ4名配置した。目標の配置人数には届いていないが、学級の状況に応じてチーム・ティーチング方式授業や少人数学級（きめ細やかな対応）への補助として配置することにより児童生徒へのきめ細やかな支援運営が行えた。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）		基準値（25年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（年度）
	配置率100%		目標 (8人配置)	(100%)			
			実績 8人配置	75% 未達成			
	到達度テストの沖縄県平均		目標	県平均			()
			実績	小-0.55 中-5.26			
進捗状況説明		配置率100%は未達成である。半年契約で、更新を行っていくという雇用形態をとっており契約者側の都合等もあり入れ替わりが多いため、最終的に配置率75%となった。到達度テストにおいても沖縄県の平均に対して、小学校は近づいているものの、中学校に関しては差がある。しかし、本地区の中学生の学習へ向かう態度は、かなり改善されており、これまで無回答率が沖縄県の平均を超えていたが、県平均以下まで改善することができた。これは、学習へ向かう意欲・関心・態度が改善されたことであり、教科を指導する先生をはじめ、学習支援員の粘り強い指導の成果でもある。学校の実情に応じて、配置された学習支援員の効果を最大限に引き出すために、各学校における指導体制や少人数指導体制の工夫・改善を依頼した。学校規模にもよるが、個別対応学習や一斉指導において、1日の時間割の中に支援員を効果的に配置している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校において、習熟度の低い児童生徒を対象に支援を行い、基礎学力の定着にも繋がっている。 学習支援員の確保が困難な状況にあり、各方面と連携し、情報交換等を行っているが、人材不足であるため年度初めからの採用に苦慮している。 八重瀬町人材バンクに紹介を毎年度しているが人材がいない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、広報誌や八重瀬町ホームページでの募集はもちろんのこと・教育機関との情報交換、近隣市町村とも連携し、情報交換を行い人材紹介等などを行って人材確保に努める。

今後の取り組み方針

- 各小中学校において、学習支援員との連携や活用方法について計画をたて、学習支援員の意識の向上とスキルアップのために、継続的な研修会を行う。
- 到達度テストにおいては、小中ともに県平均を下回っているので、県平均に近づける努力を行う。
- 平成29年度は、学習支援員のフルタイム勤務とパートタイム勤務に分け採用を行い年度当初より採用配置できるように努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、面接選考採用し、支出については八重瀬町規則に基づき支出しており妥当なものと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、当初予算よりは減額になったが、計画は適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する出勤簿等により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑤	八重瀬町特別支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成27～33年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3

事業内容
心身に障害を持つ児童生徒に対し、適切な支援を行うため、各小中学校に特別支援員を配置し支援体制の充実を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他（賃金）

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	(a) 当初予算額	24,087	33,063			
	(b) 予算現額	22,443	24,948			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,644	▲ 8,115			
	(d) 繰越額	—	—			
	A. 計 (b+d)	22,443	24,948			
	B. 執行済額	15,903	24,948			
	うち交付金充当額	12,722	19,958			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率（%）(B/A)	70.9%	100.0%			
	予算の状況の説明	年度当初の計画では4月より20名の配置であったが、思うように人員が確保できずに年間を通して、最大19名の雇用であるが、年度内での退職やに伴う採用を繰り返しの内容であるため予算的には補正減額を行った。				

活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）	達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度
		特別支援員配置数：20人 （小学校14人） （中学校6人）	目標	（ 小学校18人 中学校2人 ）	（ 小学校14人 中学校6人 ）	（ ）
	実績	小学校16人 中学校2人	小学校17人 中学校2人			
	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績					
達成状況説明	当初計画4月7日から3月24日までの契約で小学校へ14名と中学校6人の配分であったが、学校の実情に応じながら調整し、小学校へ17名、中学校へ2名配置した。最大19名の配置となった。					

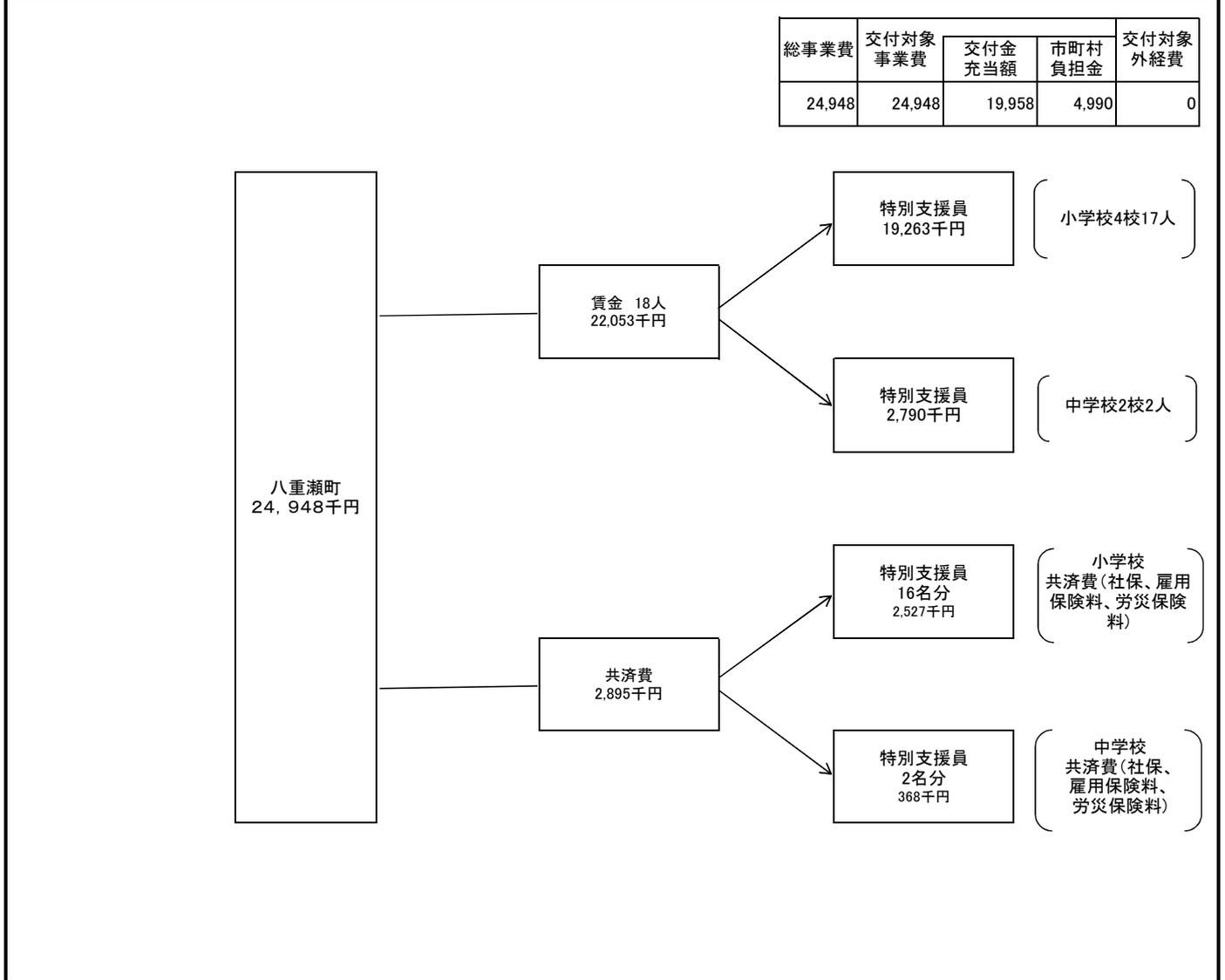
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）	基準値（年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（年度）		
		配置率100%	目標	（ ）	（ 20名配置 ）			（ ）
			実績		19名配置 未達成			
		支援児童生徒38名	目標	（ ）	（ 38名 ）			（ ）
実績			38名					
進捗状況説明	当初の計画では20名の予定で配置率100%を目標としていたが、年度途中からの採用や退職などで安定的な児童生徒への支援体制が完全ではなかったが、最終的には特別支援員を19名配置した。各小中学校とも指導員の配置体制の工夫などで支援児童生徒38名に対する支援体制の構築ができた。学校現場からは、学校生活の安全の向上につながり、児童生徒の授業に対する意欲も向上したとの意見が多数寄せられた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り等を要する児童生徒が普通学級に在籍し、年々支援員の業務が増加傾向にある。 ・年度当初に採用配置できていないのが現状である。 ・学校評価において特別支援教育評価ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員は支援教育等の知識やスキルアップが不可欠であり、障がいや、個々にあった対応により、信頼関係を構築し学習に向かわせる手法が必要であるため、特別支援員と学習支援員の合同研修会を年に数回行い、情報交換会や勉強会をおこなっている。 ・学校現場に配置するには、人物を見極めるなど面接採用を積極的且つ細心に行う必要がある。 ・学校評価において、特別支援教育に関する学校評価の満足度を図る。

今後の取り組み方針

・各小中学校において、特別支援員との連携や活用方法について計画をたて、支援員の意識の向上とスキルアップのために、継続的な研修会を行う。
 ・平成29年度は、学習支援員のフルタイム勤務とパートタイム勤務に分け採用を行い年度当初より採用配置できるように努める。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、面接選考採用し、支出については八重瀬町規則に基づき支出しており妥当なものと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、当初予算よりは大幅な減額になったが、計画は適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する出動簿等により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥ 切磋琢磨学力パワーアップ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成26～29年度		沖繩振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3	
事業内容	町内中学校、県教育委員会の学力向上の主要施策「にぬふぁ星プランⅢ」の基に推進されてきたが、未だ全国学力・学習状況調査では全国と大きな差があるため、学力向上の1つの事業として、土曜講座や長期休業中講座等の補習を中心に、学力向上を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,970	14,970	14,971		
		(b) 予算現額	14,970	14,970	14,970		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲1		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		14,970	14,970	14,969		
	B. 執行済額		14,000	14,944	13,898		
	うち交付金充当額		11,200	11,955	11,118		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		93.5%	99.8%	92.8%		
予算の状況の説明		当初予定をしていた講座が学校行事等により、行うことができなかったため、不用額1,072千円が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	土曜講座 38回×2中学校 平成28年6月～平成29年2月		目標 (平成26年8月～平成27年2月)	(平成27年6月～平成28年2月)	(平成28年6月～平成29年2月)	()	
			実績 平成26年8月～平成27年2月	平成27年8月～平成28年3月	平成28年7月～平成29年3月		
	定期テスト補習講座 5回×2中学校		目標 (4回)	(4回)	(5回)	()	
			実績 0回	中間テスト5回 期末テスト5回	中間テスト3回 期末テスト5回 学年末テスト5回		
	長期休業中講座 5回×2中学校		目標 (20日間)	(20日間)	(5回)	()	
			実績 夏期講座5日 秋期講座5日	夏期講座5日	夏期講座5回		
	三年生対象高校入試模試 1回×2中学校		目標 (-)	(-)	(1回)	()	
			実績 -	受験対策プレテスト5回	受験対策プレテスト1回		
達成状況説明	土曜講座では、10:00～12:00(具志頭地区)、13:30～15:30(東風平地区)に各中学校で合計32回行われた。長期休業中講座では夏期講座10:00～12:00の各地区5日間開催された。定期テスト補習講座は、中間テスト対策・期末テスト対策・学年末テスト対策の三回で各校あわせて合計13日間開催された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	全国学力学習状況テストにおいて、全国との差が10ポイント以上あるので、その差を5ポイント以内に縮める。		目標 ()	(差5ポイント以内)	()	()	()
			実績	差11.8ポイント			
	中学三年生は高等学校へ全員合格を目指す。		目標 ()	(合格率の上昇)	()	()	()
			実績	昨年同様 全員合格			
			目標 ()				()
進捗状況説明	事業開始が7月開始となってしまったが、3年目ということもあり学校現場とスムーズな連携が展開できた。受講者数では、東風平地区・具志頭地区ともに延べ人数が増となり、目標を上回る受講者数になった。三年生に関しては今年度も高校入試模試を実施し、引き続き受講生の全員が合格する事ができた。また、全国学力学習状況調査において全国との差が11.8ポイントで10ポイント以内に縮めることができなかったが、学校別でみると、2校のうち1校は全国との差を5.7ポイントまで縮めることができた。また、活用力が試されるB問題では両校ともポイント増となったが、確実な基礎学力の定着にはもう少し時間が必要である。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○当初予定していた実施時期より開催時期が遅れた。</p> <p>○土曜講座が午前開催の具志頭中学校では各部活動と重なり、部活生の参加が少なかった。</p>	<p>○本事業への受講者数は年々増加しているが、未だ全国学力学習状況調査では全国との差があるので、正答率30パーセント以下の生徒への案内を強化する。</p> <p>○部活生の参加を増やすため、今後は各校で午後と同時に開催する必要がある。</p> <p>○今後も周知活動を強化しつつ、町のホームページや広報誌への掲載依頼を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

○個別指導を中心に自己肯定感を高めながら基礎的・基本的な事項の定着を図り、学習意欲を向上させる。
 ○学校と連携し、全国学力学習状況調査及び県到達度調査の正答率30パーセント以下の生徒への働きかけを強化する。
 ○事業開始時期を6～7月に位置付け、早期の取り組み開始を図り、円滑な運営を進めることで、事業の充実につなげる。
 ○両校とも午後から講座を同時開催し、具志頭中学校の参加及び出席率の増加を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
13,898	13,898	11,118	2,780	0



(学習支援として講師派遣
 土曜講座・長期休業中講座・
 定期テスト前対策講座等 開講)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は一般競争入札(プロポーザル)で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○講座数日数が減のため不用額が発生したが、適正な規模であった。</p> <p>○費目、使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

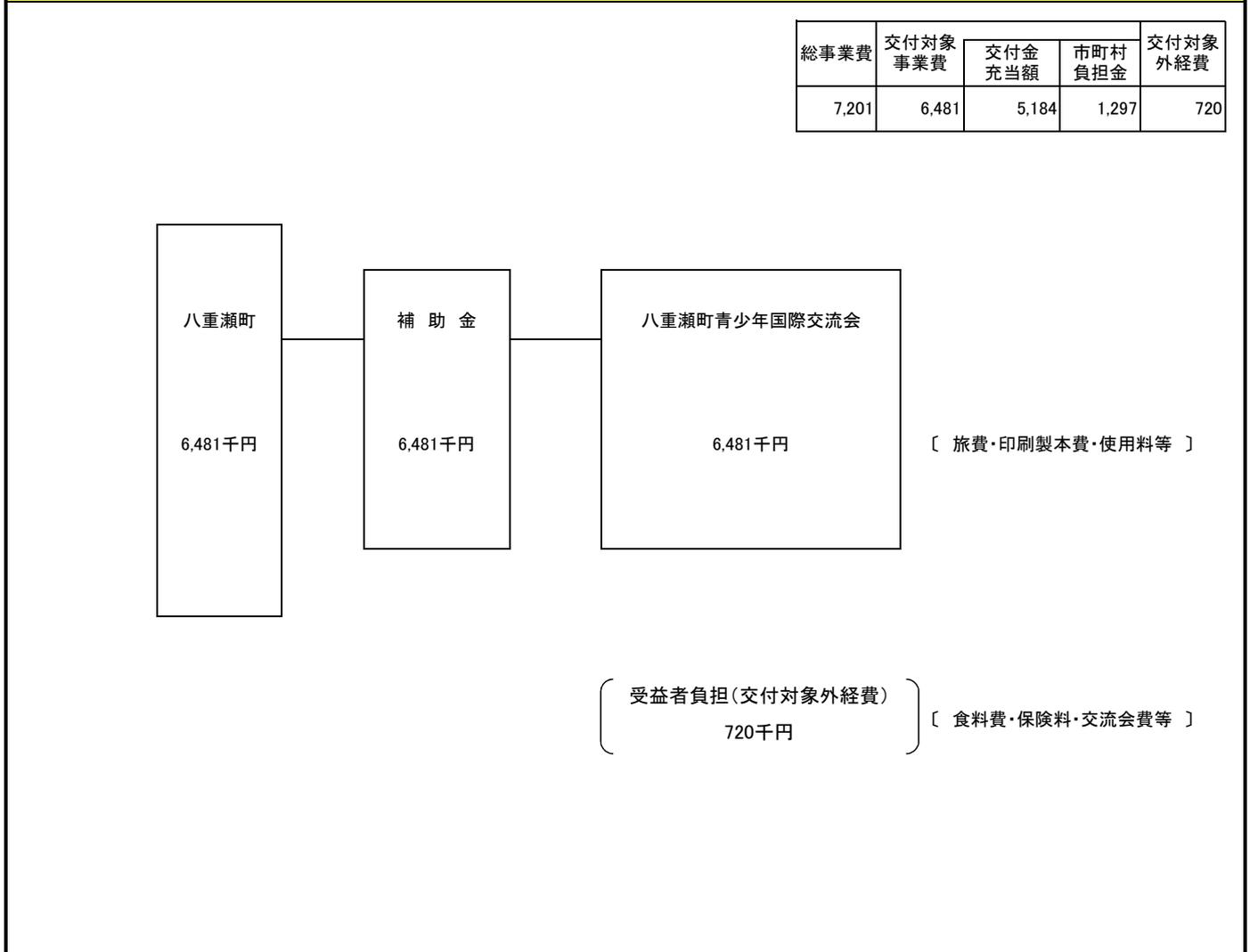
市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦ 八重瀬町国際交流人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(4)-ア		
	担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
				III-3			
事業内容	国際的視野を広め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を行う青少年リーダーを海外に派遣する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,000	5,880	6,356	6,356	6,356
		(b)予算現額	7,000	5,880	6,356	6,356	6,656
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	300
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
		A.計(b+d)	7,000	5,880	6,356	6,356	6,656
	B.執行済額		5,603	5,381	6,313	6,352	6,481
	うち交付金充当額		3,944	3,888	5,050	5,081	5,184
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		80.0%	91.5%	99.3%	99.9%	97.4%
予算の状況の説明		渡航費の高騰により、日程を8泊10から7泊9日に変更したが、予定していた事業内容を実施するできた。また不用額は3%以下であり順調に予算執行することができた。不用額175千円は、日程の変更やAV機器賃借料の減等によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	海外短期派遣生徒数 12人	目標	(12)	(12)	(12)	(12)	
		実績	12	12	12	12	
		目標	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	国際化時代に対応しうる青少年を育成するうえで、団員選考試験において選考されたされた青少年リーダー12人をアメリカ合衆国ハワイ州へ派遣し、視察学習やホームステイ等を通して国際的視野を広め、友情を深めた。団員選考においては、町ホームページ及び町内各中学校、私立中学校長を通じて募集を行い、作文試験・面接試験を実施し、団員を決定した。事前研修を10回実施し、地元八重瀬町や沖縄について学習したり、現地研修のアロハパーティーで八重瀬町の紹介をパワーポイントで作成したものを英語で発表したり、郷土芸能の琉舞や空手を披露した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	ホームステイの実施	目標	()	()	()	(2泊3日)	()
		実績				2泊3日	
	帰国後の研修会及び報告会の実施	目標	()	()	()	(1回)	()
		実績				1回	
	短期派遣を実施した結果、英語を学ぶ関心・意欲が高まり、視野が広がった生徒の割合:100%	目標	()	()	()	(100%)	()
実績					100%		
報告書の作成(100冊)	目標	()	(50冊)	(100冊)	(100冊)	()	
	実績		100冊	100冊	70冊		
進捗状況説明	・ホームステイを通して、現地の生活を体験することにより、国際的視野が広がった。また、英語しか通じない中での生活を体験することにより、英語を話す機会が増え、わからない単語は辞書をひくなどし、英語の学習意欲が上がった。 ・事後研修会において、ハワイでの研修内容や交流会で発表した八重瀬町の紹介をパワーポイントで発表した。 ・研修に参加した生徒から聞き取り調査を行った結果、参加者全員から英語を学ぶ関心・意欲が高まり、視野が広がったとの回答があった。 ・報告書の作成については、必要冊数を精査した結果、70冊作成した。 ・10月に行われた世界のウチナンチュ大会八重瀬町出身者歓迎の夕べにおいて、平成27年度、平成28年度に派遣した生徒23名がボランティアとして参加し、地域に貢献した。 以上のことから、国際的視野を広めると共に、コミュニケーション能力の向上と国際化意識の醸成、国際性豊かな人材の育成を達成することができた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ア)H27年度より、町立中学校が2学期制から3学期制へ移行したため、現地実習の時期を10月から8月へ変更した。 (イ)時期が8月のため、選考試験や渡航説明会、事前研修の日程を確保するため、交流団員募集や渡航費の見積り徴取等を早期に行う必要がある。 (ウ)渡航費が高騰しているため、年度の初めに見積りを徴取し事業執行に備える必要がある。	(ア)沖縄県人会・東風平町人会・具志頭村人会との早めの調整を行いホームステイ先を確保する。 (イ)時期が8月であることから、年中行事(旧盆)やお盆(新盆)の時期と重ならないよう注意する。 (ウ)渡航費が高騰しているため、年度の初めに見積りを徴取し事業執行に備える必要がある。

今後の取り組み方針

- ・夏休みを利用して現地実習を行うため、事業内容及び成果目標を達成できるよう、年度の初めには沖縄県人会・東風平町人会・具志頭村人会へホームステイの受け入れやアロハパーティーへの参加等々と調整を行う。
- ・他団体の事例も参考にし、研修の内容を充実させる。
- ・現地の情報や、世界情勢についても新聞やニュース等から情報収集し、安全に研修を行えるように努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、国際化時代に対応する青少年の人材育成を目的としている八重瀬町青少年国際交流会であり、妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○不用額は、全体の3%未満であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○現地での食料費(食事・アロハパーティー等)や保険料について受益者負担としているので妥当であると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されており、適正であった。

市町村名 八重瀬町

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑧ 八重瀬町青少年女人材育成交流事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア
			教育機会の拡充
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成26~33年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3

事業内容 幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や、集団生活を通して、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな青少年の健全育成を図るため、風土・文化の違う他県の子どもたちと交流を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	5,564	5,564	5,564		
	(b)予算現額	5,564	5,564	5,564		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0		
	(d)繰越額	-	-	-		
	A.計(b+d)	5,564	5,564	5,564		
	B.執行済額	5,139	5,497	5,440		
	うち交付金充当額	4,111	4,397	4,397		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	92.4%	98.8%	97.8%		
	予算の状況の説明	予定していた事業内容を実施することができた。また不用額は3%以下であり順調に予算執行することができた。不用額124千円は夏の高知交流において、町のマイクロバスを借用することができたため、貸し切りバス賃借料不用等によるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		28年度	29年度	30年度	31年度
(夏期)児童生徒交流者数:12人	目標	(12人)			
	実績	12人			
(冬期)児童生徒交流者数:38人	目標	(38人)			
	実績	44人			
事後報告会の開催	目標	(1回)			
	実績	1回			
研修報告書の作成	目標	(200冊)			
	実績	170冊			
達成状況説明	・児童生徒交流者数56人(高知交流12人、山形交流44人)を達成することができた。 ・8月1日から8月3日まで、高知県からの児童10名を受け入れ、八重瀬町内各小中学校長より推薦された児童生徒12名と交流を行った。 ・12月25日から12月28日まで、町内各子ども会会長より推薦された児童36名、町内各中学校長、青少協会会長より推薦された生徒8名を山形県へ派遣し交流を行った。 ・事前研修で練習した八重瀬町の紹介をパワーポイントで作成したもので発表したり、町出身者の現地での暮らしの講話を聞くことができた。 ・交流事業を通して、沖縄にはない他県の歴史や文化、風俗、習慣等を学ぶことで幅広い視野を育み、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけることができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
			沖縄にはない他県の歴史や文化、風俗、習慣等を学ぶことで、地元への関心を高め視野が広がった生徒の割合:100%	目標	()	(100%)
事後報告会の開催(1回)	目標	()	(各1回)			()
	実績		各1回			
研修報告書作成(100冊)	目標	()	(100冊、100冊)			()
	実績		70冊、100冊			
進捗状況説明	・他県の子ども達と交流することで、町代表としての自覚が芽生え、コミュニケーションも積極的に行うなど成長がみられた。 ・事後報告会を予定通り(夏、冬各1回)開催した。 ・沖縄にはない他県の歴史や文化、風俗、習慣等を学ぶことで幅広い視野を育むことができ、今後の学校生活、進路・就職選択においても交流事業の経験がいかされ、選択肢が広がることとなり成果が得られた。 ・団体行動を行うことにより、5分前行動や、自己管理の大切さを身をもって体験することができ、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけることができた。 ・報告書の作成については、必要冊数を精査した結果、高知交流(夏)70冊、山形交流(冬)100冊作成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	高知交流事業 隔年でお互いの県を訪問しており、平成28年度は高知県より10名の児童を受け入れ、八重瀬町の児童生徒12名と交流した。 夏休み期間であり、混雑が予想されるため、宿泊施設や、視察研修等の施設を早めに予約する必要がある。	高知交流事業 早い段階での市の担当者との調整を行い、日程を確定させ、宿泊施設や、視察研修等の施設を確保する。
	山形交流事業 冬休みを利用したの事業実施予定のため、日程を早目に決定する必要がある。	山形交流事業 日程を早目に決定し、飛行機や宿泊施設等を確保する必要がある。 担当者との調整を密に行い、互いに意義のある交流にするため、交流・研修内容の充実を図る。

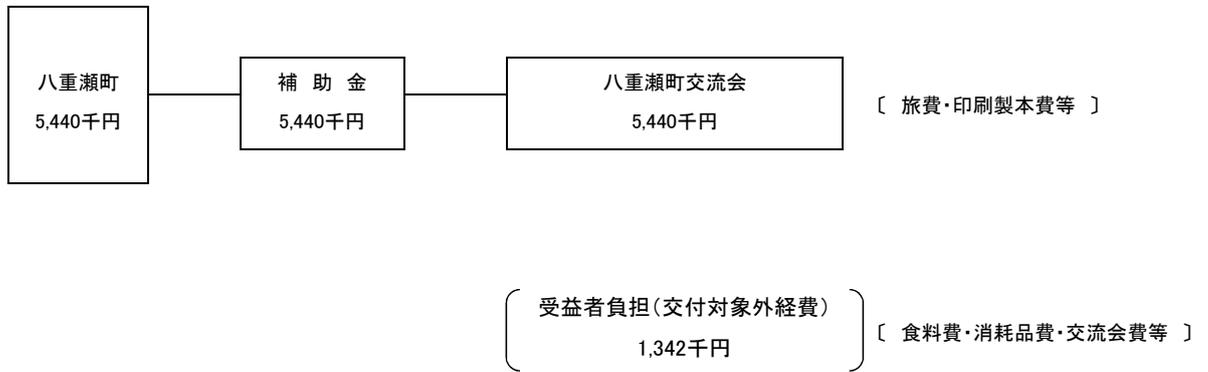
今後の取り組み方針

高知交流事業
本交流事業は、隔年でお互いの県を訪問しており、平成29年度は八重瀬町が訪問する年度である。
事業実施に向けての取り組みを早くし、事前研修は丁寧に行うことで交流を深め、幅広い視野を育み、町民の資質向上と町の活性化を図る人材を育てるために、他県の風土・文化を体験・学習する。

山形交流事業
今後も継続して交流できるよう受け入れ先との連絡・調整を密に行う必要がある。
H29年度も特に事前研修に力を入れ、町代表としての自覚及び集団生活でのルール等の確認を徹底し、交流を深めることで幅広い視野を育み、町民の資質向上と町の活性化を図る人材を育てていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,782	5,440	4,352	1,088	1,342



資金の 用途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、心身ともに健やかな青少年の人材育成を目的としている八重瀬町交流会であり、妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は、全体の3%未満であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○食料費・消耗品費・交流会費等について受益者負担としているので妥当であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されており、適正であった。

市町村名	八重瀬町
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑨	渡嘉敷リーダー研修事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-ア
	担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度 平成26~33年度	教育機会の拡充
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3

事業内容
 風土、文化の異なる多文化圏での活動を通し、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活により規律・協調・友愛・奉仕等の精神を養い、心身ともにすこやかな青少年の健全育成を図るため、リーダー研修を実施する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	891	911	891		
	(b) 予算現額	891	911	1,219		
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	328		
	(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)	891	911	1,219		
	B. 執行済額	792	503	291		
	うち交付金充当額	459	402	232		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)	88.9%	55.2%	23.9%		
	予算の状況の説明	当初7月に事業実施予定だったが、台風の影響により予定していた船が出航出来ず、延期となった。また実施を10月に変更した。理由として、渡嘉敷青少年の家の予約状況、参加者の部活動に係る大会や学校行事等により、日程調整が出来なかったため、当初105名見込みの参加者が53名となってしまった。また、子どもの船舶運賃が予算積算時では3,000円だったが、事業実施時点で利用料金の改定があり、一人あたり1,500円へ見直しがあった。以上により、928,000円の不用額が発生した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
渡嘉敷リーダー研修の実施	目標	(1回)	(1回)	(実施)	()
	実績	1回	1回	実施	
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	当初7月9日~10日には事業実施予定だったが、台風の影響で延期になったため10月15日~16日に開催した。研修では海洋研修・平和学習・正座観察等を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
		渡嘉敷リーダー研修の実施(参加者100名)	目標 ()	(人材育成に寄与する)	(人材育成に寄与する)	(参加者100名)	()
		実績	/	人材育成に寄与する	人材育成に寄与する	参加者53名	/
	目標	()				()	
進捗状況説明	単位子ども会ごとに4名ずつの募集をかけ渡嘉敷リーダー研修を実施。台風の影響や部活動の大会、学校行事とのブッキングがあり大きく参加人数が予定の105名から53名に減ってしまったが、人数が少ない分子ども一人一人に目が行き届き安全な研修が行えた。また、県から講師を依頼し親の学びあいプログラムを実施した。子ども達だけではなく育成者同士の繋がりを密にする取り組みを行い、有意義な研修になった。研修終了後、参加した子ども達が地域や学校でリーダーとして活動したり、町のジュニアリーダークラブに加入するなど人材育成に寄与した。						

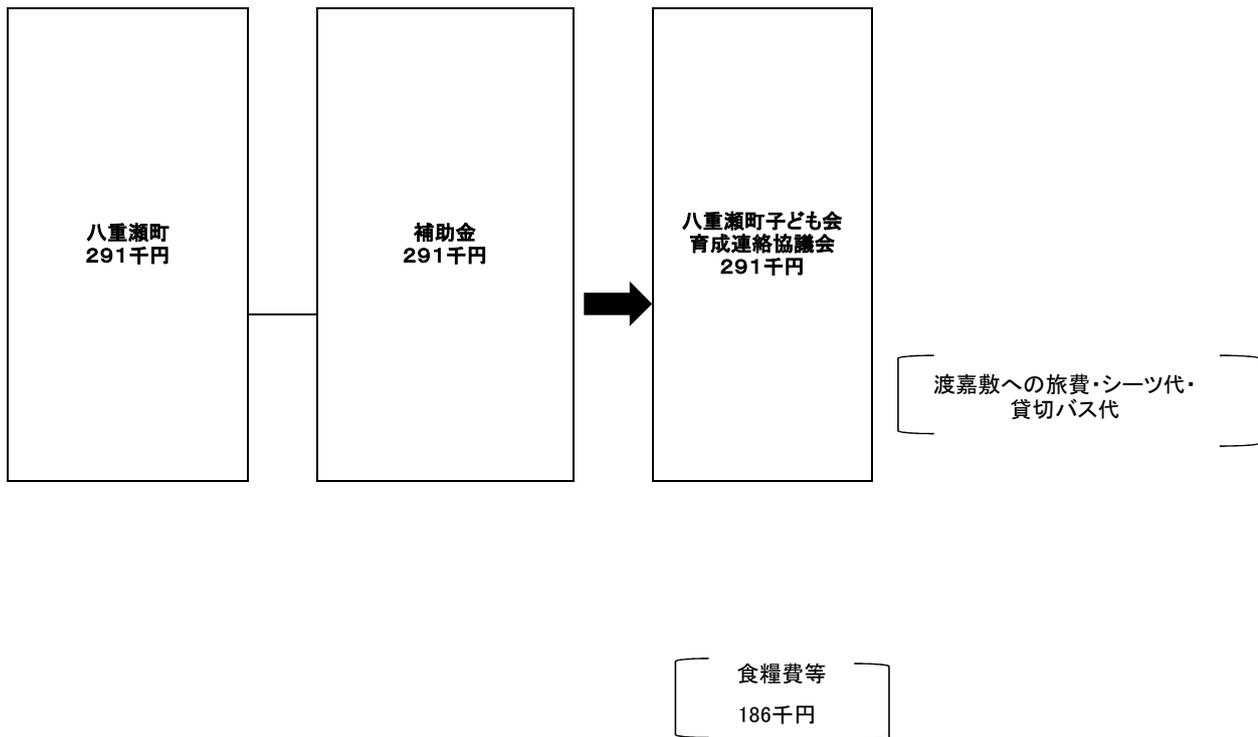
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	子ども会会員の減少や部活動・習い事などを行う子ども達が増加し、子ども会活動の優先順位が下がっているため参加者の減少が見られる。そのため参加者集めに課題が残る。	部活動の大会や学校行事の日程が研修の日程と重ならない様に、各部活動関係者や学校と日程調整を行い事業実施日を検討する。また、子ども会会員の勧誘や研修の告知に力を入れ参加者の増加に努める。

今後の取り組み方針

各部活動や学校行事とブッキングしないよう調整を密に行い、子ども達が参加しやすい日程を検討する。また、子ども達が参加したくなる研修プログラムの見直しや子ども会会員の勧誘、研修の告知も徹底して行き、より多くの子ども達が参加できるよう努め、目標達成に向け頑張っていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
477	291	232	59	186



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・子ども会の人材育成を目的としているので、補助先が八重瀬町子ども会育成連絡協議会なのは妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・台風の影響と船舶料金の変更のため不用額が出てしまった。今後は事前の確認を徹底し、不用額が出ないように努める。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・子ども会理事会において参加費を決定し食料費の約半額を徴収しており、妥当な金額である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、事業目的達成のために必要なものに限定されており、適正であった。

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①		八重瀬町イベント事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
	担当部課名	観光振興課、生涯学習文化課		事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開
事業内容		観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する団体を支援する。					Ⅲ-1-(1)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,325	17,825	4,319	5,616	9,600
		(b)予算現額	3,325	17,913	5,235	6,314	13,979
		(c)増減額(b-a)	0	88	916	3,135	4,379
		(d)繰越額	-	0	0	0	0
		A.計(b+d)	3,325	17,913	5,235	8,751	13,979
	B.執行済額		2,995	17,913	5,235	6,314	13,979
	うち交付金充当額		1,281	12,968	4,211	5,051	10,250
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		90.1%	100.0%	100.0%	72.2%	100.0%
予算の状況の説明		「こいのぼりあしび実行委員会」「まるごと八重瀬フェア実行委員会」「やえせ桜まつり実行委員会」からPR、集客強化のための取組の追加提案等があったことから、4,379千円を流用により増額の上適切に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	こいのぼりあしびイベントの開催支援	目標	()	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	
		実績		支援実施	支援実施	支援実施	
	まるごと八重瀬フェアイベント開催支援	目標	()	()	()	(支援実施)	
		実績				支援実施	
	青年エイサーまつり開催支援	目標	()	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	
		実績		支援実施	支援実施	支援実施	
	やえせ桜まつりイベント開催支援	目標	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
達成状況説明		こいのぼりあしび: 今年度は町魚トビウオの「のぼり旗」の設置やトビウオ料理の振る舞い数の増加、また、体験コーナーの追加と、抽選会の景品である鮮魚が港川産であることを周知強化し、親子を対象としたイベントとして町内外へ広くPRし、地域振興に寄与する内容となった。 まるごと八重瀬フェア: 開催地を那覇市とすることで周辺の観光客や町外の取り込みを行い、八重瀬町の認知度向上、物産や地域民俗芸能のPRにつなげた。概ね目標通りの集客を達成し、今後、八重瀬町に訪れたい動機付けになり入域客数増加が見込まれる。 青年エイサーまつり: 旧盆の伝統行事として町内各地域で行われているエイサー団体が一堂に会して行う八重瀬町青年エイサーまつりを支援し、伝統芸能の継承、観光イベントとして情報発信や地域活性化に寄与した。 やえせ桜まつり: 八重瀬公園の桜を沖縄南部桜の名所として広くPRし地域活性化に寄与した。今年度は新たな取り組み支援として町内外の文化芸能交流をプログラムに盛り込むことで、地域内外へ魅力発信を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	こいのぼりあしび来場者数3,500人	目標	()	(2,500)	(2,500)	(3,500)	()
		実績			3,000	3,000	5,000
	まるごと八重瀬フェア来場者数4,000人	目標	()	()	()	(4,000)	()
		実績					3,919
	青年エイサーまつり来場者数10,000人	目標	()	()	(10,000)	(10,000)	()
		実績				10,000	10,000
	やえせ桜まつり来場者数4,000人	目標	()	(5,000)	(5,000)	(4,000)	()
		実績			6,000	5,000	4,300
	進捗状況説明		各イベントを運営するため実行委員会への補助を行い、補助金は企画に対する経費等に充てられた。 各イベントの来場者数はシャトルバス利用者数・入口におけるカウント・目測カウント等を元にした推測等により算出し、まるごと八重瀬フェアは目標値4000人を設定していたが、初めて那覇市の沖縄タイムスホールでの開催に当たり告知が難しいところではあったが、3919人と概ね目標は達成できた。また、それ以外の各イベントにおいては目標を達成したので八重瀬町のPR事業として効果があったと考える。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○こいのぼりあしび・やえせ桜まつりについては、開催場所並びにアクセス道路が狭小なことから会場内・周辺道路における来場者の安全確保が課題。</p> <p>○運営に当たり、特定の団体・係に負担が生じているため、運営に参加する各団体に対し、適切な役割分担が求められる。</p> <p>○外国人のイベント来場者が増加しているが、外国語表記の案内や通訳の配置など受入体制が十分とは言えない。</p>	<p>○来場者が安心してまつりに来場できるよう、会場へのアクセス向上(臨時駐車場の確保、シャトルバスへの導線設定)を行う。</p> <p>○イベントの主旨目的がターゲットとなる地域内外の方々へ魅力が伝わるように多様な情報発信の方法を実践し、誘客につなげるようにする。</p> <p>○多言語対応の条件整備や来場者が訪れやすい交通アクセスの案内や看板等の整備を行う。</p> <p>○企業協賛金の導入等、自主財源の確保について検討を行う。</p>

今後の取り組み方針

○「こいのぼりあしび」「やえせ桜まつり」において観光客向けのガイドツアー「八重瀬まち歩き(字港川、字富盛)」を実施したが、エイサー体験・民俗芸能体験・工芸製作体験等、参加型の八重瀬体験プログラムについて一層の充実を図る。

○地域活性化を促すように地域全体で受け入れる仕組み創りの構築。

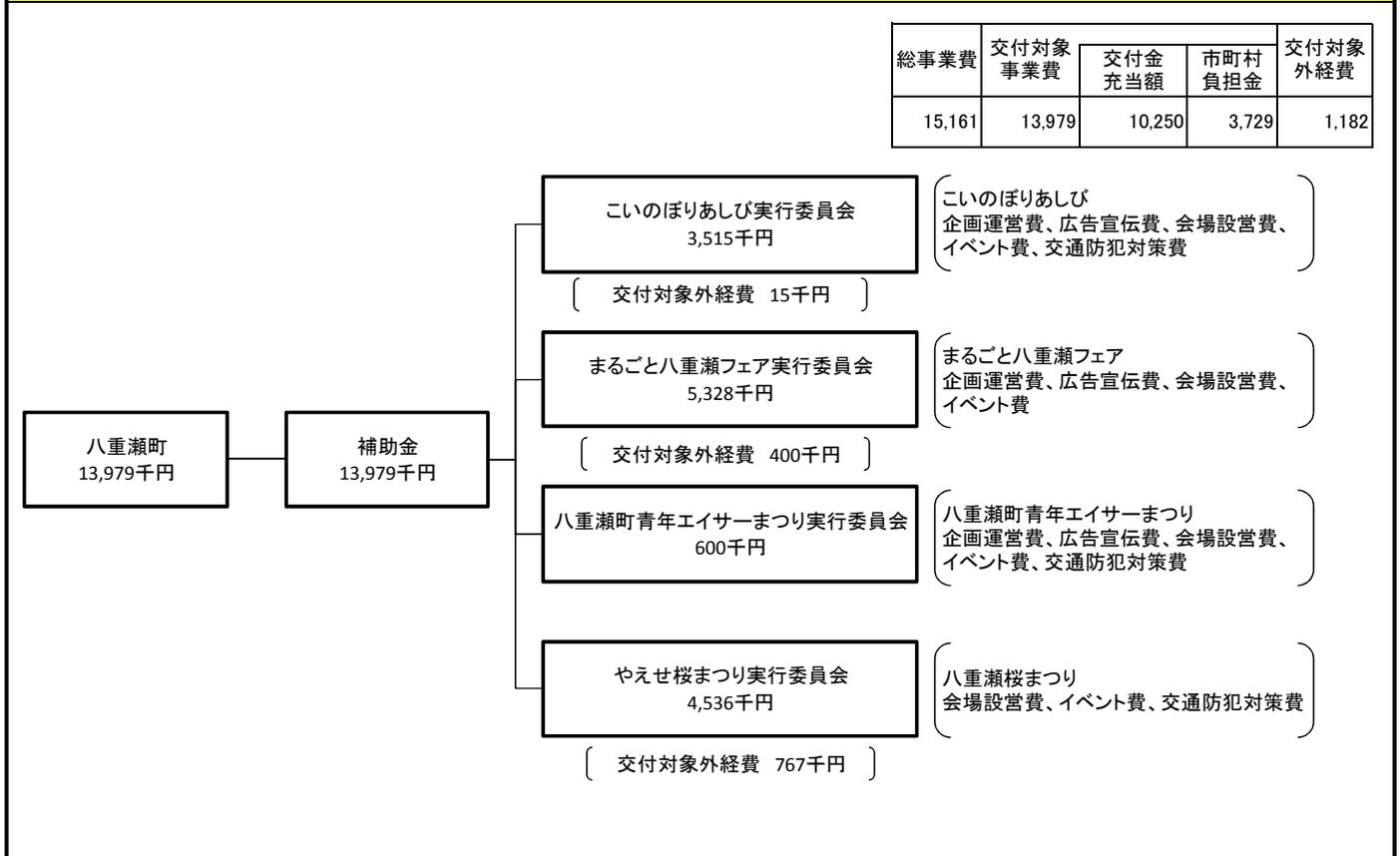
○県内旅行社やホテル等への情報発信・プロモーションを行い、イベントをツアー商品に組み込むよう働きかける。

○外国語版観光パンフレット、SNSを活用し外国人観光客に向けた各イベントの情報発信を行う。

○多言語対応可能なイベントスタッフの確保。

○「八重瀬町観光拠点施設」と連動し、積極的に活用する取組の実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出の選定先は、地域における協働のイベント等に関係している経験・知識を有する方で構成し、また地域団体関係者の委員会でもあるため、妥当である。</p> <p>○予算規模については、見積書等を勘案しより安価で効果的な予算使途に限定しているため適正である。</p> <p>○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について精査し執行しており適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

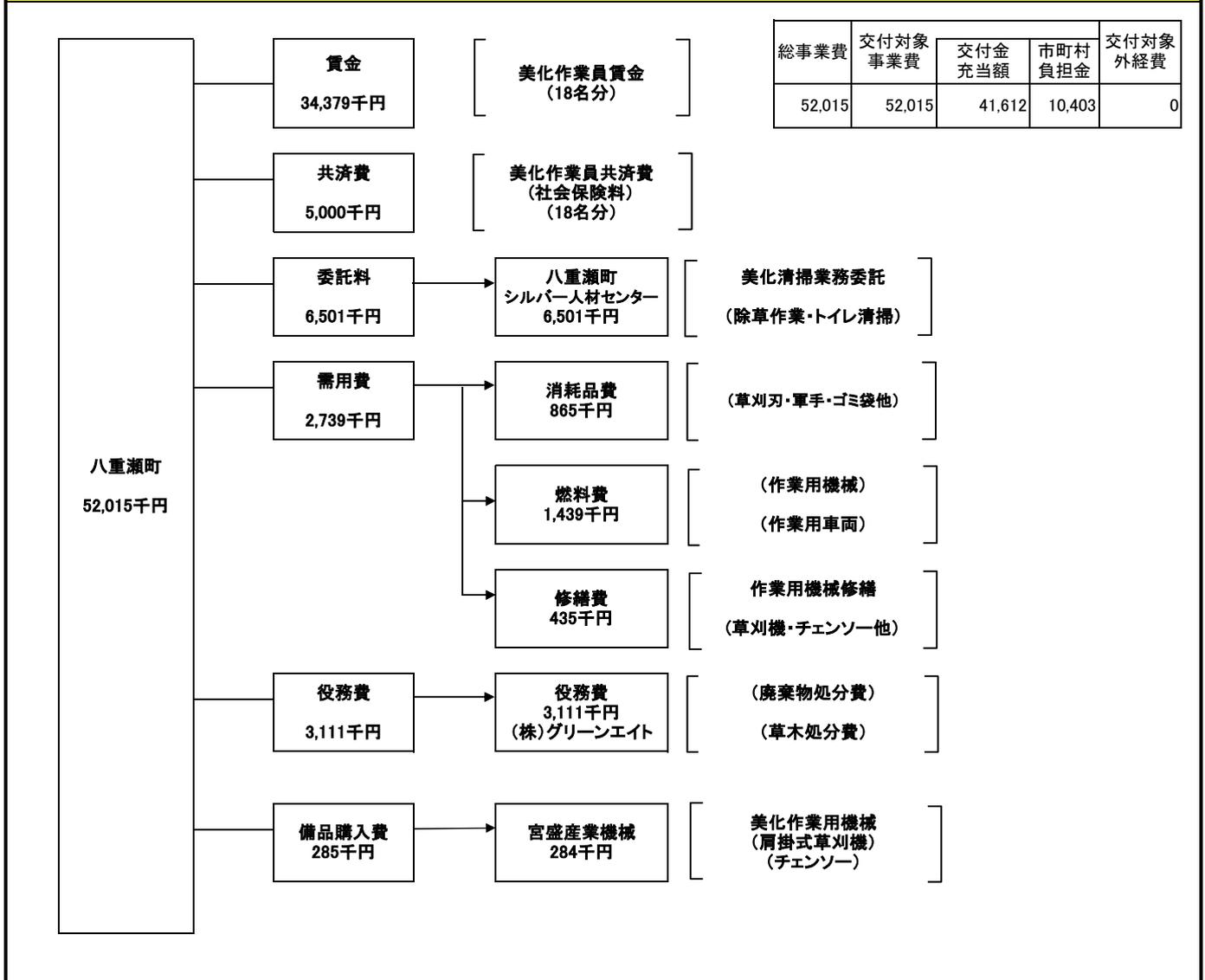
市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②		八重瀬町観光地美化作業事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	土木建設課 スポーツ振興課 区画整理課		事業実施(予定)年度		平成24~33年度	観光客受入体制の整備
事業内容		観光地としての魅力向上を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。					
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	47,842	—	53,896	54,624	54,487
	(b) 予算現額	47,842	—	53,896	56,000	52,988	
	(c) 増減額(b-a)	0	—	0	1,376	▲ 1,499	
	(d) 繰越額	—	7,829	—	—	—	
	A. 計(b+d)	47,842	7,829	53,896	56,000	52,905	
	B. 執行済額	40,013	7,829	52,216	52,402	52,015	
	うち交付金充当額	32,010	6,263	41,772	41,921	41,612	
	次年度繰越額	7,829	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	83.6%	100.0%	96.9%	93.6%	98.3%	
予算の状況の説明		補正減額1,499千円のうち、1,389千円は作業員数の減員によるものと、110千円は備品購入の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業	目標	(美化作業の実施)	(美化作業の実施)			
		実績	美化作業の実施	美化作業の実施			
		目標	()	()			
		実績					
達成状況説明	観光施設及びアクセス道路の美化作業を、優先順位や必要性の高い場所等を検討及び調整しながら定期的に行えたことにより、安心安全な観光客の受入態勢を整えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	除草作業、緑化作業 観光地：8箇所	目標	()	(8箇所)	(8箇所)	(8箇所)	()
		実績		8箇所	8箇所	8箇所	
	除草作業、緑化作業 アクセス道路：40路線	目標	()	(40路線)	(40路線)	(40路線)	()
		実績		40路線	40路線	40路線	
	進捗状況説明	観光施設：東風平運動公園、八重瀬公園、西部プラザ公園、他8施設。 アクセス道路：西部線、北部線、ビーチ進入路、他40路線において継続的な美化作業を実施したことで安心安全で沖縄らしい景観を年間を通して保つことができたことにより、観光客の受入れ体制を整えることができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・草木等の処分費が掛かり、処分場の往復移動に時間を要する。 ・6月から10月頃にかけては草の伸びが早い為、通常の作業員では作業が間に合わない状況である。 ・雑草の繁栄が早いことから除草作業が追い付かない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・草木の仮置場を設けて、乾燥させ処分場への搬入回数を減らす。 ・時期に応じた作業員の増減にて年間計画をたて対応を行う。 ・沿道景観ガイドラインを参考に植栽柵への張芝を行い、防草を行う。

今後の取り組み方針

今後も継続的な美化作業を実施していくなかで、作業員への作業手順の指導や作業機械等の活用を行い、これまで以上の作業の効率化を図る。また作業中の安全対策の徹底や作業員の体調管理、また作業機械のメンテナンスを徹底し維持管理費の縮減に努める。また、除草のみにとらわれず、緑化(草花)等も検討して観光地としての質の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 用 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法167条2第1項3号の規定により選考を行い、また直接雇用の作業員については町の雇用促進の観点から公募、面接を行い採用しており妥当であると考え。 ○予算規模については、見積り及び町条例に基づき算出しており事業に必要な予算規模であると考え。 ○費目、用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類において確認をし適正であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町									
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2-③		八重瀬町さくらのまち整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)					
	担当部課名	区画整理課		事業実施(予定)年度	平成25年～平成28年	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備				
事業内容		南部唯一のさくらの名所として県内外に広くアピールし、知名度の向上と向上と観光地の魅力向上を図るため、さくらまつり会場である八重瀬公園のさくらを、年間を通して集中的に生育保全を行う。									
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
		(a) 当初予算額	2,722	5,500	15,000	3,000					
	(b) 予算現額	2,722	15,500	17,001	3,200						
	(c) 増減額(b-a)	0	10,000	2,001	200						
	(d) 繰越額	0	0	0	0						
	A. 計(b+d)	2,722	15,500	17,001	3,200						
	B. 執行済額	2,721	15,496	16,970	3,139						
	うち交付金充当額	2,176	12,397	13,576	2,511						
	次年度繰越額	0	0	0	0						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.8%	98.1%						
予算の状況の説明		管理用園路の舗装箇所を一部増やした為、200千円の増額補正を行った。予算については計画通りに執行できた。									
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況								
			28年度		29年度		30年度		31年度		
	さくらの植栽工事	目標	(植栽工事)								
		実績	植栽工事								
	公園内のさくらの生育保全	目標	(生育保全)								
		実績	生育保全								
達成状況説明	不足箇所のさくらの植栽(10本)や管理用園路(232㎡)を整備することで、さくらまつり会場としての魅力向上及び来場者数の増加に繋がった。また、管理用園路を整備したことにより樹木の育成保全の強化にも繋がりが目標通りの整備を行うことができた。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)				
	さくらのまち整備事業の進捗率(88%)	目標	()	(88%)			()				
		実績		88%							
	【参考指標】		目標	()	()		()				
			実績								
	進捗状況説明	不足箇所への植栽を行ったことで、景観の向上となり、また管理用園路を整備したことで桜への散水等の育成保全が行い易くなったことで祭り会場としての機能強化となった。管理用園路を整備したことで、利用者の利便性の向上にもなり当初の計画とおりに整備を進めることが出来き、目標の88%を達成することができた。									

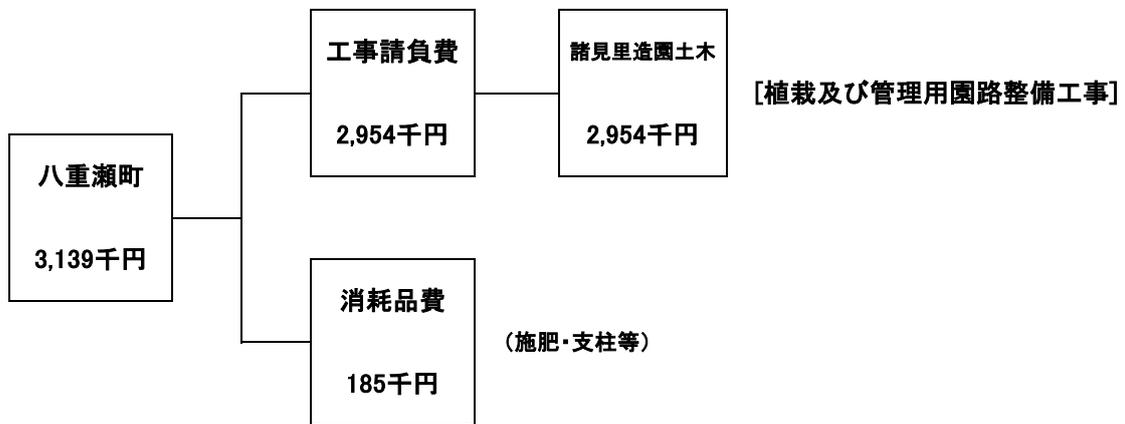
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な除草や剪定等、専門的な育成管理が行えていない部分がある。 立枯れや、台風等による倒木により植栽間隔がまばらな部分がある為、美観に欠ける部分がある。 一部地盤において、植栽には適さない部分があり育成に影響を与えている。 まつり会場としての駐車場台数の不足がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門業者への委託管理等を検討する。 定期的に不足箇所への補植を行う。 土壌改良や植栽箇所の配置変更を検討する。 まつり期間中の借地等による駐車場の確保を検討する。

今後の取り組み方針

枯損箇所への植栽、育成管理(剪定、施肥、散水)を継続して行いながら、専門業者への管理委託や地域住民による植栽管理等も検討し、さくらの育成保全に取組み祭り会場としての質の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,139	3,139	2,511	628	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事は指名競争入札により執行しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだったと判断した。

市町村名 八重瀬町

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-④	琉名城の郷整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	土木建設課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	観光客の受け入れ体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容 琉名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道の整備を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	52,940	209,443	53,805	16,000	71,000
	(b) 予算現額	52,940	209,443	35,008	23,400	71,839
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 18,797	7,400	839
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)	52,940	209,443	35,008	23,400	71,839
	B. 執行済額	52,681	177,159	35,008	23,393	71,837
	うち交付金充当額	42,144	141,727	26,426	18,714	57,469
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)	99.5%	84.6%	100.0%	99.97%	100.0%
予算の状況の説明	カヌー整理棚等の追加により、工事費839千円の増額となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
遊歩道の整備 100%	目標	()	(整備)	(整備)	(整備工事)
	実績		整備	整備	整備工事
遊歩道の用地取得	目標	(24筆)	(144㎡)	(1,196㎡)	(251㎡)
	実績	22筆	144㎡	1,078㎡	135㎡
トイレ・シャワー施設の実施設設計	目標	()	()	()	(実施設設計)
	実績				実施設設計
トイレ・シャワー施設の整備工事	目標	()	()	()	(整備工事)
	実績				整備工事
達成状況説明	全体の施設整備計画は完了した。しかし、遊歩道用地1筆が相続手続が完了していないため、未買収となった。				

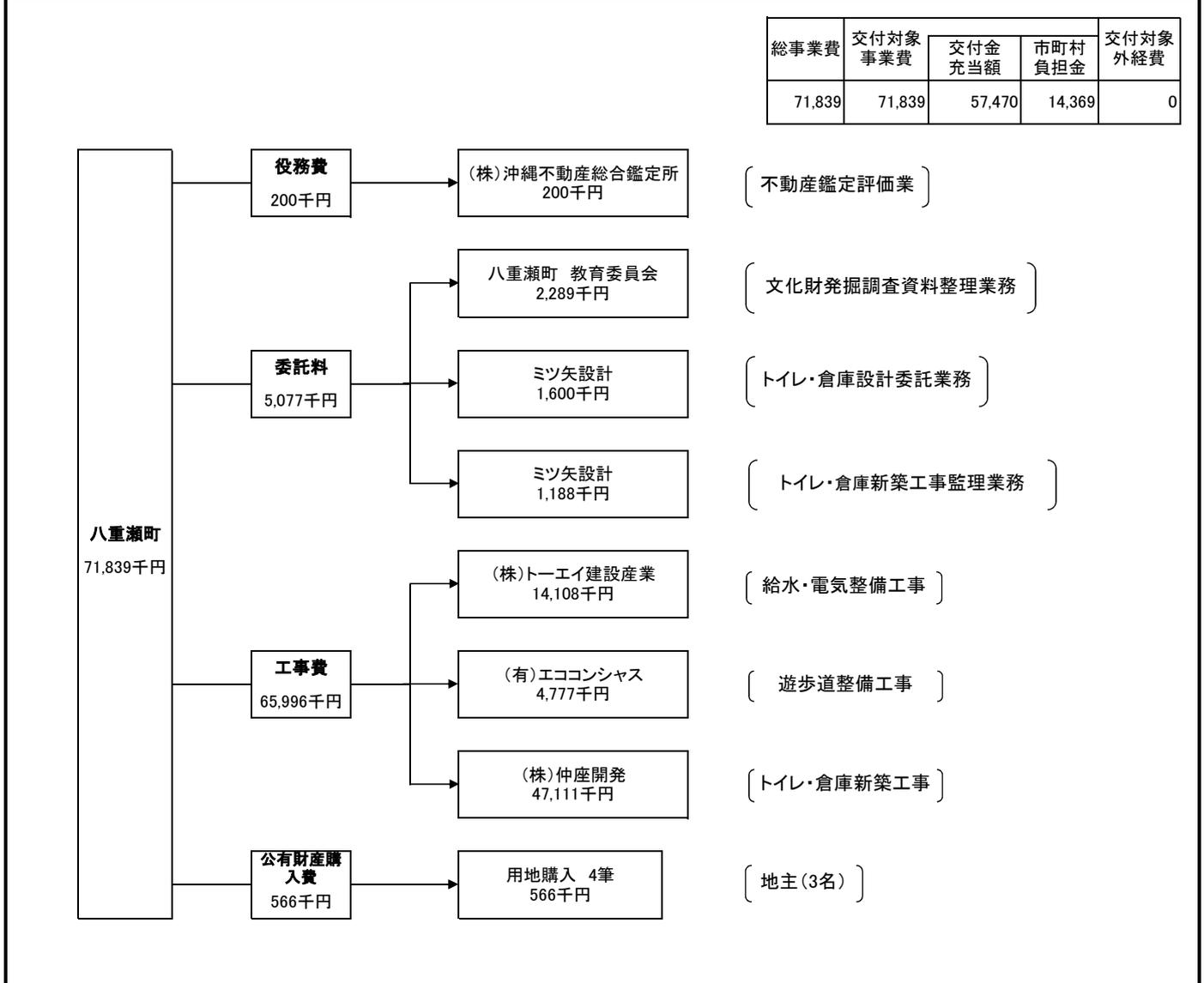
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
			用地取得率 100%	目標	()	(100)
	実績		80			
琉名城の郷整備事業の完了	目標	()	(整備の完了)			()
	実績		整備の完了			
進捗状況説明	トイレ・シャワー施設、カヌー倉庫等施設の整備が完了した。遊歩道の施設整備が完了した。年度当初から用地交渉を進めたが、相続発生日から44年が経過していたため、相続人が決定しなかったことにより用地1筆が未買収となり、今後、相続登記完了後に売買契約を行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成27年度より契約に向けて交渉を進めてきたが、相続発生日から44年が経過し、関係者が孫や曾孫の代となっているため協議も出来ない状況であり、相続人が決まらず、事業年度内に相続手続きが完了しなかったことにより、未買収となった。	施設の完了に伴い、広報等による観光客への周知を図ることが求められる。また、遊歩道、トイレ等の維持管理を徹底し、利用客への満足度を高める。未買収用地については、相続登記完了後に売買契約を行う。

今後の取り組み方針

八重瀬町ガイドの会やNPO法人自然体験学校、各種団体と連携を図り、遊歩道の自然観察やイノアの観察、カヌー体験を実施し、本町のさらなる観光振興を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、委託及び工事の業者を指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。また、公有財産購入についても、事業に必要な土地を購入するためであり、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算についても、一部計画の見直しにより変更は生じたが、事業内容に見合っていると判断。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については事業成果(納品)の提出、及び完了検査において確認し適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤		八重瀬町戦跡整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	まちづくり課		事業実施(予定)年度	平成25~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)
事業内容	八重瀬町の地域資源を活用するため、町内の戦争遺跡を整備し、歴史・平和学習等へ活用する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	107,242	—	45,100	25,000	58,500
	(b) 予算現額	107,242	—	60,100	25,000	57,500	
	(c) 増減額 (b-a)	0	—	15,000	0	0	
	(d) 繰越額	—	86,403	—	—	—	
	A. 計 (b+d)	107,242	86,403	60,100	25,000	57,500	
	B. 執行済額	20,839	75,910	56,146	24,911	57,399	
	うち交付金充当額	16,670	60,727	44,916	19,928	45,919	
	次年度繰越額	86,403	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)	19.4%	87.9%	93.4%	99.6%	99.8%	
予算の状況の説明	平成28年度は、戦跡公園に遊歩道及び東屋等を整備したものである。執行率も99.8%で、計画どおり執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
	実施戦跡公園整備(遊歩道・東屋等)	目標	(戦跡公園整備 遊歩道・東屋)				
		実績	(戦跡公園整備 遊歩道・東屋)				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	戦跡公園内に遊歩道・東屋等を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	戦跡公園整備の完了	目標	()	(戦跡公園整備の完了(H28年度分))			()
		実績		(戦跡公園整備の完了(H28年度分))			
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	平成28年度事業で戦跡公園内の遊歩道(L=415m)と東屋(2箇所)、展望広場等を整備した。						

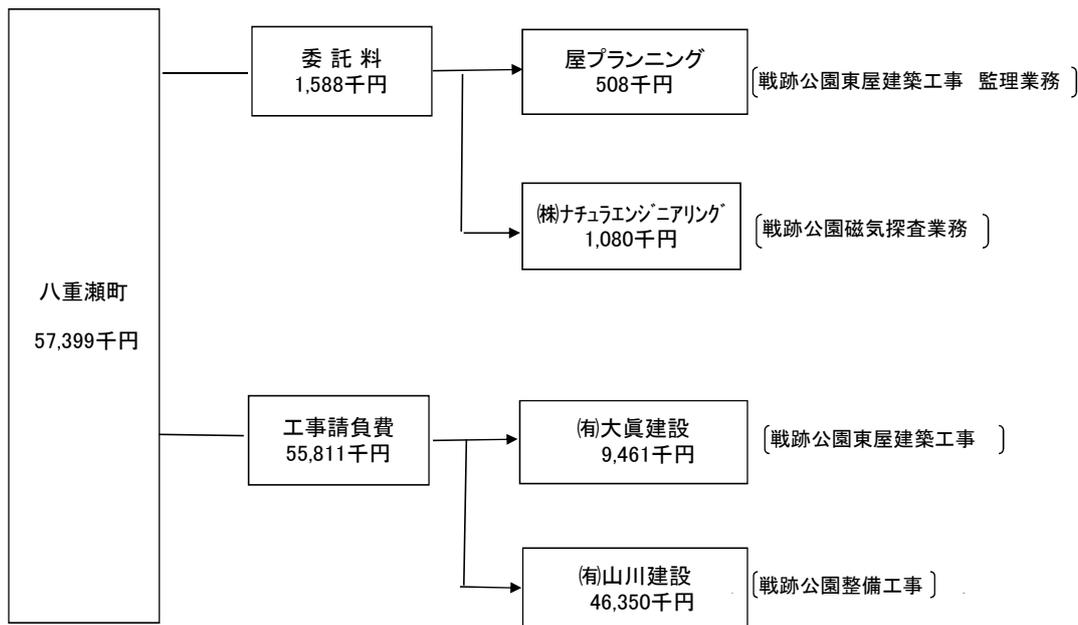
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成28年度において、未同意地権者と買収交渉を進めてきたところ、新たに地権者1名の理解が得られ、同買収箇所を平成29年度事業で整備する予定である。しかしながら、未だ一部地権者の理解が得られず、買収交渉が難航している状況である。	一部地権者の未同意の原因は、「事業に反対」等であるが、今後も継続して地権者の理解を得るべく鋭意、買収交渉を継続していかねばならない。しかし、当該買収交渉の年内の解決は、非常に厳しくなることが予想されるため、事業を一時中断するか検討しなければならない。

今後の取り組み方針

未同意地権者の理解を得るべく、用地買収交渉を継続しなければならないが、当該地権者との用地交渉が難航しており、遊歩道の一部を残し、事業を一時中断したうえで時間をかけて地権者と用地交渉するか、平成29年度内において判断する必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
57,399	57,399	45,919	11,480	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○不用額は、事業費の1%以内であり、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥		運動公園施設等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
	担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)
事業内容	プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・サブグラウンド等の施設を整備し、ハイレベルな練習環境を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,571	9,247	15,390	24,904	
		(b) 予算現額	14,306	12,504	14,453	24,904	
		(c) 増減額 (b-a)	3,735	3,257	▲ 937	0	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計 (b+d)		14,306	12,504	14,453	24,904	
	B. 執行済額		14,233	12,478	13,774	24,559	
	うち交付金充当額		11,386	9,983	11,019	19,647	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		99.5%	99.8%	95.3%	98.6%	
予算の状況の説明		不用額が345千円は、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	サッカー場プロ仕様芝生整備	目標	(1カ所)				
		実績	1カ所				
	野球場・サブグラウンドの段差解消工事	目標	(1カ所)				
		実績	1カ所				
管理用機械の購入	目標	(バイプロレイキ、スーパー)					
	実績	バイプロレイキ、スーパー					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 東風平野球場、サブグラウンドの内外野段差解消工事を行い、硬式ボールのイレギュラーバウンドや選手の引っかかったり転倒等の危険防止を行い、受け入れ環境を改善した。 東風平運動公園サッカー場が冬期間のキャンプ時に良好な芝生環境で練習ができるよう、ベースとなる夏芝の整備、11月に冬芝の種播きを行い冬場のキャンプ受け入れ環境を整備した。また隣接する多目的広場の芝生も管理整備し、サッカーキャンプが効率的に練習ができた。 管理用機械(バイプロレイキ、スーパー)の購入により、野球場、サッカー場等の芝質の向上が図られ、実施団体にハイレベルな練習環境を提供できた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	28年度
	県外からの野球チーム(3チーム)、サッカーチーム(3チーム)のスポーツキャンプを受入	目標	()	(3チーム)	(4チーム)	(5チーム)	(6チーム)
		実績		7チーム	6チーム	6チーム	7チーム
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	スポーツキャンプ誘致は、野球キャンプが韓国プロ野球1チーム、韓国中学校1チーム、県外大学2チームで計4チームがキャンプ。サッカーキャンプについては、Jリーグ1チーム、中国倶楽部チーム2チームの計3チームがキャンプを行っており、成果目標の6チームに対し、1チーム上回る7チームがキャンプを行い、成果目標を達成できた。県内でキャンプを行っているJリーグや日本プロ野球との練習試合を目的に中国、韓国のサッカーチームや野球チームのキャンプが増えており、キャンプ必要消耗品等の町内購入、または県外、海外から見学者等の観光客増による周辺の商店、飲食店等の経済効果もでている。						

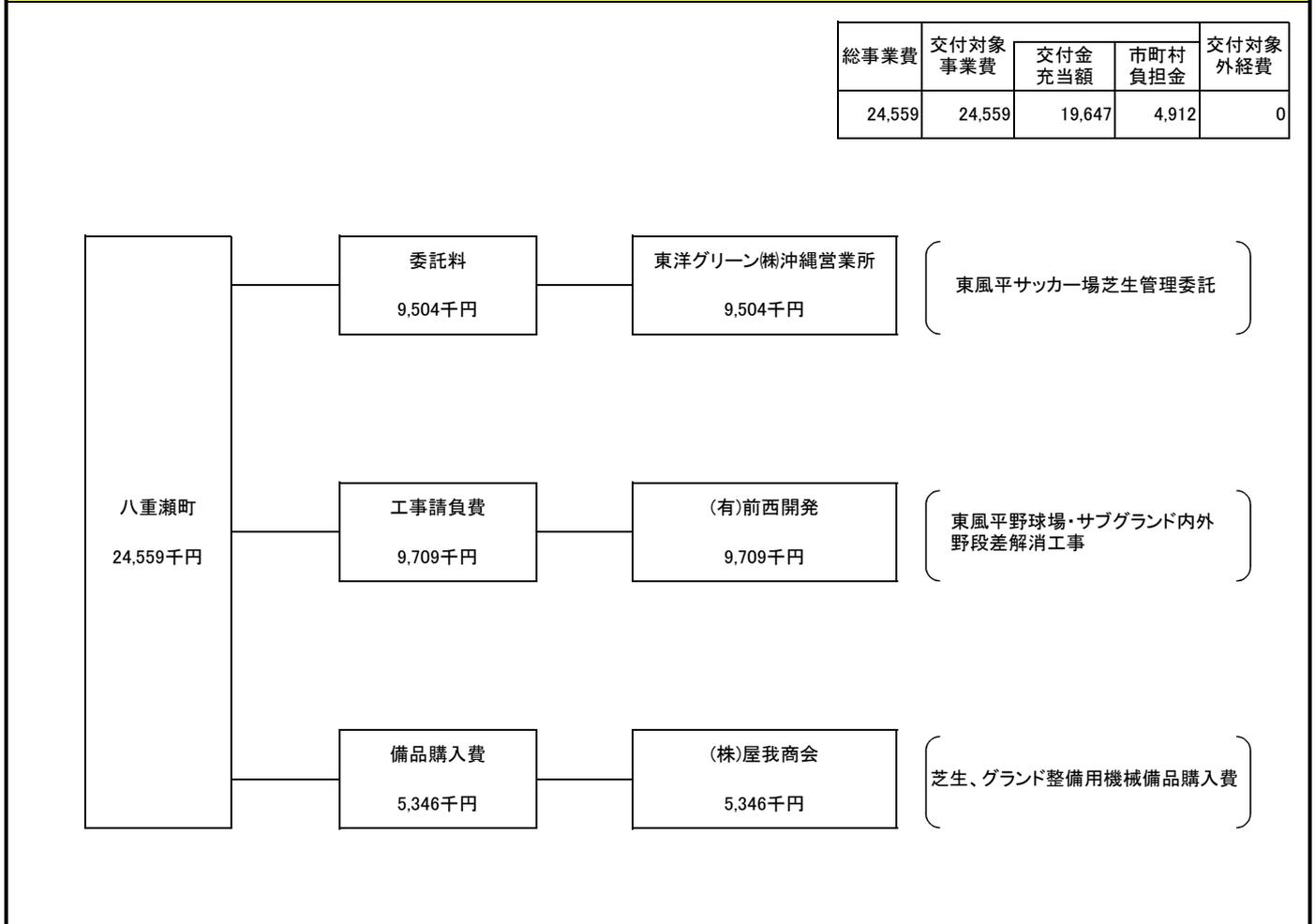
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	キャンプ受け入れ環境を整備のため、芝生管理委託、東風平野球場・サブグラウンド内外野段差解消工事を行った。また、サッカー場、野球場等の芝質向上のため、芝生、グラウンド整備用機械(パイプロレイキ、スーパード)を購入した。 ・サッカー場は、硬い赤土層で透水性が悪く、雨が多いキャンプ期間中、降雨後の水溜まりによって練習に支障が生じている。	サッカー場の雨天後での練習が支障なく行えるよう、透水性と土壌硬度の改善が不可欠である。サッカー場の芝生環境は徐々に改善されているがプロ仕様の芝生環境に近づけるため、必要な管理機械の購入、または芝生管理委託事業等を継続していきたい。

今後の取り組み方針

サッカーキャンプでは、冬期間のキャンプ時に良好な芝生環境で練習ができるよう、ベースとなる夏芝の整備、冬芝の育成管理を継続して行うため、必要な管理機械の購入、専門業者への委託事業を実施していく。また、雨水対策として透水性を改善するため、固い赤土層下の透水層まで、ドリルによる穴開け作業を行う。

また、海外のサッカークラブチーム、野球チームのキャンプの問い合わせが増えており、施設整備と並行して「スポーツキャンプ誘致事業」との連携、受入体制を強化し、誘致拡大を目指したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 東風平野球場・サブグラウンド内外野段差解消工事、芝生、グラウンド整備用機械備品購入は指名競争入札により選定、東風平サッカー場芝生管理委託は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき、競争見積方式による随意契約を行っており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 国土交通省の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算 規模は適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	- 受益者負担なし。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により精査確認し、適正であった

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	八重瀬町観光資源活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(7)	
担当部課名	区画整理課	事業実施(予定)年度	平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	町内の史跡や遺跡などの文化財を含む公園施設等を観光資源として活用するために周辺道路に誘導看板を設置し、本町を初めて訪れる観光客が目的地に迷うことなく快適に移動できる環境整備を行う。また、公園施設の利用案内パンフレットを製作し、文化財巡りや公園施設活用の利便性を高める。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
		(a) 当初予算額	13,092				
	(b) 予算現額	12,881					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 211					
	(d) 繰越額	0					
	A. 計 (b+d)	12,881					
	B. 執行済額	12,661					
	うち交付金充当額	10,129					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	98.3%					
予算の状況の説明	誘導看板の設置数が増えたため、12月補正で委託料の入札残額1,260千円と需用費500千円を減額し、設置数が増えた分1,760千円の工事費を増額した。また、工事費については入札残額が出たため、3月補正で211千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
		28年度	29年度	30年度	31年度		
	周辺道路の誘導看板の詳細設計	目標	(7箇所)	()	()	()	
		実績	21箇所				
案内パンフレット情報内容を検討	目標	(情報内容を検討)	()	()	()		
	実績	なし					
達成状況説明	誘導看板設置については、国道・県道を中心とした7箇所当初計画を行っていたが、国道・県道と等しくバイパス的な役割を持つ幹線道路も観光ルートとして位置づけたことや案内する対象施設を追加するなどしたため、設置箇所を14箇所増やし、誘導看板を21箇所設置する設計を行った。また、パンフレットの需用費(印刷製本費)を減額し工事費を増額したためパンフレットは製作しなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	誘導看板の設置	目標	()	(21箇所)	()	()	()
		実績		23箇所			
西部プラザ公園の案内パンフレットの製作	目標	()	(製作)	()	()	()	
	実績		未製作				
進捗状況説明	21箇所の看板を設置する設計をしていたが、看板を設置しないと目的地を誤るおそれがある箇所があったため、誘導看板設置工事において変更契約を行い2箇所誘導看板を追加して設置した。また、設計を委託している段階において、概算工事費を算出したところ工事費が不足してしまった。補正予算において、パンフレットの需用費(印刷製本費)から工事費へ予算を組みかえたため、パンフレットは製作しなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本町を初めて訪れる観光客が目的地に迷うことなく移動できるように、わかりやすい看板のデザインや文字の大きさ、英語表記内容を検討し、外国人にも対応できる看板を設置した。	沖縄県を訪れる観光客数は年々増加しており、特に中国や韓国からの観光客の割合が高くなっている。今回看板に英語による表記は行っているが、中国語・韓国語の表記は行っていない。
	今後の取り組み方針	
<p>今後の取り組みとしては、県内を訪れる中国、韓国の観光客の割合の動向を把握したり本町の観光イベント等で訪問する外国人の割合や種別などを把握しながら英語以外の外国語表記の必要性の検証を行う。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	12,661	12,661	10,129	2,532	0
<pre> graph LR A[八重瀬町 12,661千円] --> B[委託料 2,131千円] A --> C[工事請負費 10,530千円] B --> D[ピースコンサルタンツ株式会社 2,131千円] C --> E[株式会社 新秀 10,530千円] D --- F(誘導看板設計委託業務) E --- G(誘導看板設置工事) </pre>					

資金の流 れ、 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者及び工事事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不要額は事業費の2%以内であり、適正な規模であった。 ○費用、用途については、引き渡し前に検査を実施しており、目的に即し必要なものに限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	八重瀬町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨	八重瀬町スポーツ交流マネジメント計画策定委託事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	〇さらなるスポーツキャンプの誘致、観光客の集客を図るため、八重瀬町スポーツ交流マネジメント計画を策定する						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,874				
		(b) 予算現額	7,560				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 314				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	7,560				
	B. 執行済額		7,560				
	うち交付金充当額		6,048				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	交流マネジメントの計画の検討	目標	(検討)	()	()		
		実績	検討				
		目標	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	〇八重瀬町スポーツ交流マネジメント計画については計画検討委員会の設立、スポーツ推進審議会の設立、町民アンケートの実施等を行い、八重瀬町スポーツ交流マネジメント計画の策定の至る。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(28年度)
	本町の現状、課題の把握 年後に向けたスポーツ施設の強化、修繕計画の決定	目標	()	(現状、課題の把握)	()	()	()
		実績		現状、課題の把握			
	年後に向けたスポーツ施設の強化。修繕計画の決定	目標	()	(施設強化、修繕計画決定)	()	()	()
		実績		施設強化、修繕計画決定			
	進捗状況説明	〇本町の現状、課題の把握、スポーツ施設の強化、修繕計画について八重瀬町スポーツ交流マネジメント計画の策定により達成することができた。今後は策定した計画を基に有効な活用及び施設整備を実施していきたい。					

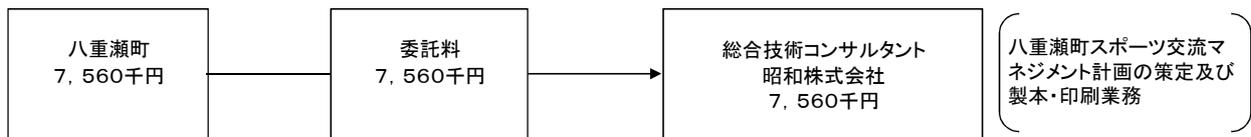
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○本町におけるスポーツ施設の現状での利用状況及び施設の修繕計画等がなされていない各スポーツ団体や町民からの意見、外部検討委員会の設置、パブリックコメント等を行い、町のスポーツ交流マネジメント計画を策定した。計画の中では、具志頭地区については周辺の観光資源も多々あるため、観光スポーツエリアとの位置づけとなったのでそれに向けての整備が必要となる。</p>	<p>○八重瀬町スポーツ交流マネジメント計画の中で位置づけされた具志頭地区については今後の施設整備を計画的に行うことにスポーツツーリズム、観光スポーツに繋げて集客を図る。</p>

今後の取り組み方針

今後の取り組みとしては今回策定した八重瀬町交流マネジメントの計画の中での利活用及び修繕計画を生かして、施設整備を行うことによりスポーツを通じた観光客の集客に繋げていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,560	7,560	6,048	1,512	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○指名競争入札(7社)にて行い、適正であったと考える。 ○不用額はなく、適切な規模だったと考える。 ○費用・使途に関しては目的のために必要なものであると考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-① 八重瀬町サッカーキャンプ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	観光振興課、スポーツ振興課		事業実施(予定)年度 平成26~33年度		観光客の受入体制の整備	
事業内容		観光事業が落ち込む冬場に注目度の高いJリーグ加盟のサッカーチームキャンプを誘致し、観光誘致を図る。		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)	
実施方法							
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	895	2,695	9,947		
		(b) 予算現額	4,441	2,462	10,343		
		(c) 増減額 (b-a)	3,546	▲ 233	396		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	4,441	2,462	10,343		
	B. 執行済額		2,885	1,849	10,056		
	うち交付金充当額		2,308	1,479	8,045		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		65.0%	75.1%	97.2%		
予算の状況の説明		補正により396千円を警備委託費として追加したが、直前で急ぎょキャンプ受け入れが決定したため警備委託について調整する時間が不足していたことと、チームによっては警備不要とするチームもあり、警備委託費は余剰となった。また、歓迎用のぼりを追加で購入したことにより、需用費が当初の予定より増加したため、69千円を警備委託費より流用した。それ以外は、当初の計画通り執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	・Jリーグチーム3チーム以上の誘致	目標	(3チーム以上)	()	()	()	
		実績	3チーム				
	・地域交流:サッカー学校町内小学生80名	目標	(80名)	()	()	()	
		実績	100名				
	・イベント開催、参加	目標	(開催)	()	()	()	
		実績	実施				
	達成状況説明		・昨年に引き続き、訪問誘致をしたJ1の「浦和レッドダイヤモンズ」が本町でキャンプを実施した。他のJリーグチームの誘致について県と連携し行ったが叶わず、最終的には、世界レベルの選手を有する中国の「広州恒大淘宝足球倶楽部」と、「重慶当代力帆足球倶楽部」の2チームを本町へ誘致し、キャンプを実施した。Jリーグ加盟は「浦和レッズ」の1チームのみであったが、、世界レベルの選手を有する「広州恒大」と「重慶」を誘致し、集客の見込めるサッカーチームの誘致という点では目標の3チームは達成できた。 ・地域交流に関してはジュニア(町内小学生)チームへのスクールを実施した。日本代表クラスの選手との交流することで、子どもたちにとって励みとなり良い刺激となった。 ・イベントとしては、キャンプ期間中、浦和レッドダイヤモンズ写真展を役場に開催した。選手のサイン入り写真やユニフォーム等の展示やプレー映像の放映などを行った。				
	成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度
・イベント:ファン感謝まつり等開催		目標		(開催)			()
		実績		実施			
・キャンプ来客数:8,000人(H27来客数:5,000人)		目標		(8,000人)			()
		実績		6,266人			
		目標	()				()
		実績					
		目標	()				()
		実績					
進捗状況説明		・Jリーグ加盟は「浦和レッドダイヤモンズ」の1チームのみであったが、、世界レベルの選手を有する「広州恒大淘宝足球倶楽部」と「重慶当代力帆足球倶楽部」を誘致し、集客の見込めるサッカーチームの誘致という点では目標の3チームは達成できた。また、八重瀬町において初の海外サッカーチームの受け入れであったため、今後に繋がる大変貴重な経験となった。しかし、海外2チームは直前にキャンプ決定したため周知する時間がなく集客力が弱かった。サッカー学校は町内のサッカーチームに所属する小学生向けに1回実施した。海外チームによるスクールは難しく、昨年の3回と比べると開催数は減った。また、キャンプ中、役場で浦和レッドダイヤモンズ写真展を行いキャンプ周知に努めた。「浦和レッドダイヤモンズ」キャンプにおいて昨年度より早めの告知ができたことと、また、キャンプ中はほとんど天候に恵まれたため、来場者数が昨年度より多かった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○平成28年度は昨年度に引き続き「浦和レッドダイヤモンズ」の誘致をし、また、初の海外チームを受け入れを行い、集客の見込めるサッカーチームの3チームを誘致した。今後は海外チームも視野に入れ、キャンプ定着化に向けて更なる工夫を検討する。プロサッカーは、直前でキャンプ地が決定するため、直前で決定した場合の事前準備、調整が必要となる。</p> <p>○サッカースクールのような取組みを今後も継続し、町内でサッカーチームに所属する青少年たちへプロ選手と触れ合う機会を増やすことで、キャンプ誘致による事業効果を高めていく。</p> <p>○観客数の増加を図るための新しいイベント等を企画やキャンプ周知活動を積極的に実施し、キャンプ誘致事業が産業振興、地域振興へ寄与する仕組みづくりを検討する必要がある。</p>	<p>○継続してビッククラブにキャンプを行って貰うため、誘致活動は継続して行う必要がある。</p> <p>○海外チームを受け入れる際、文化の違いや価値観の違いを念頭に置き、事前に覚書を交わす等、事前の取り決めや、エージェントを通じたチームとのやり取りについて、事前調整を綿密に行う必要がある。</p> <p>○地域住民のニーズのあった地域交流の方法を模索・検討し、現在よりも長い期間、開催できるような環境づくりを行う必要がある。</p> <p>○観客増を図るためのイベントの開催や周知活動。練習ゲームを本町にて開催を義務付けるなど様々な策が必要である。</p> <p>○来客者に対し町内観光を促すことにより、地域経済の活性化へつながる仕組みづくりや、キャンプ定着化による産業創出を模索していく必要がある。</p>

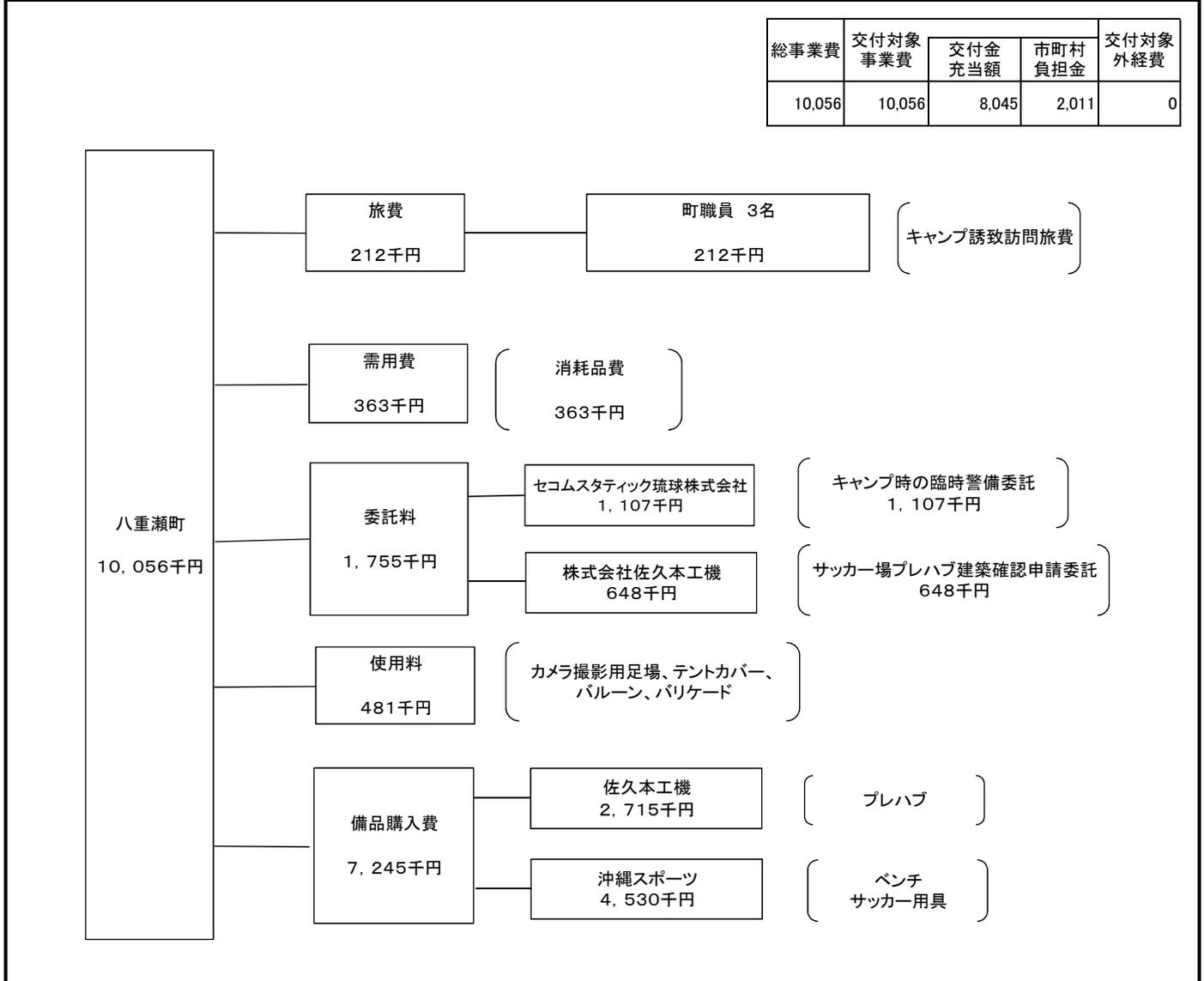
今後の取り組み方針

○Jリーグ加盟チームだけでなく、集客の見込める海外のプロチームの誘致も今後は視野に入れて、キャンプの定着化を図る。

○県と調整して誘致するチームを検証・決定し、継続して誘致活動を推進する。また、キャンプ期間を長期化できるような取り組みを県と近隣開催市町村と連携して取り組む。地域交流の方法として住民のニーズにあった交流の方法を模索・検討を行う。

○サッカーキャンプの受け入れをしている県内の市町村と連携した誘致活動と町観光プロモーションを検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



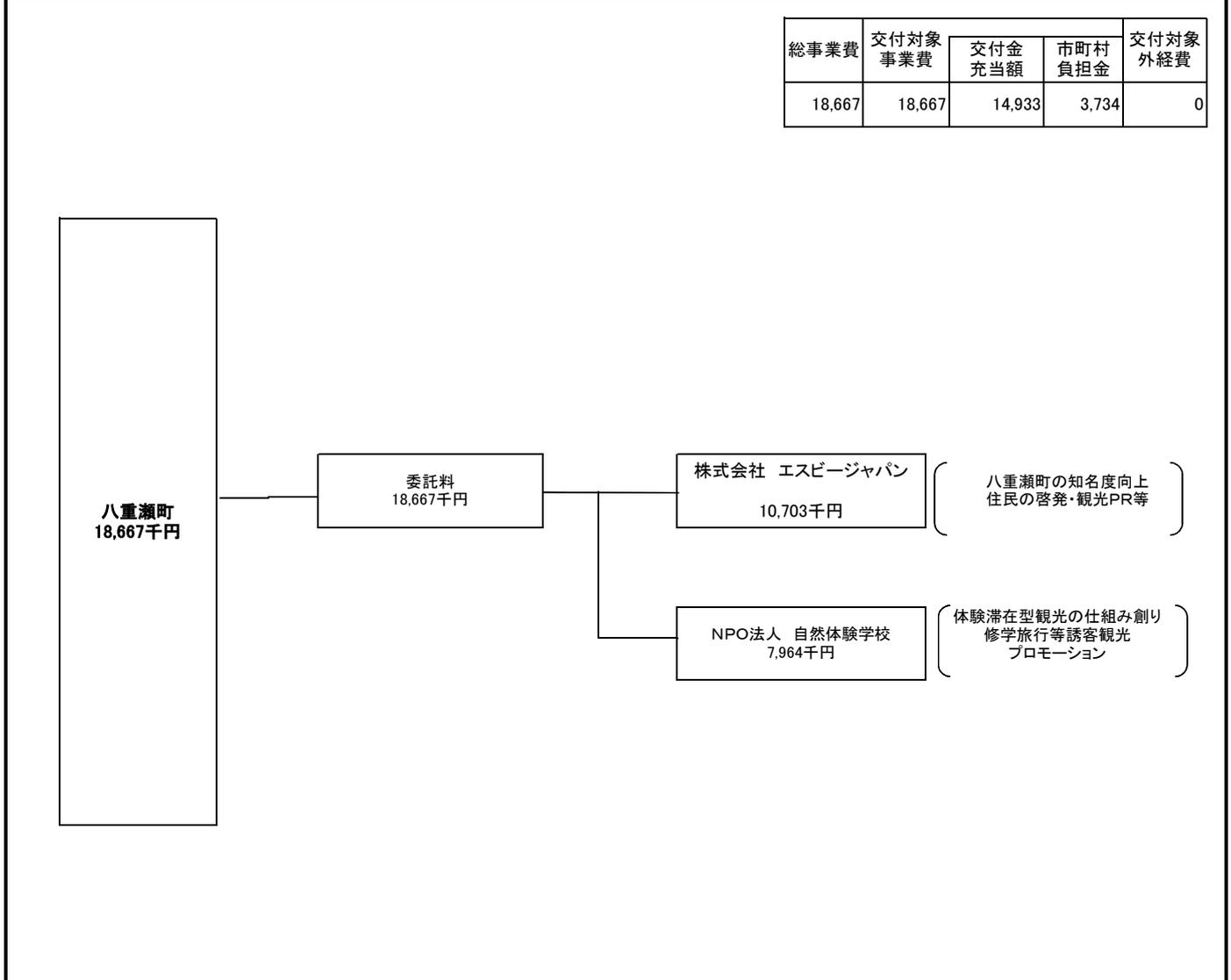
資金の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○地方自治法施行令第167条の2第1項第5号により早急に契約しなければ依頼人数を確保できないため、随意契約で選定。</p> <p>○予算の97.7%の執行なので予算規模は問題ないと思われるが、補正追加した警備委託費は未執行となった。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 八重瀬町観光ブランド魅力創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(9)-イ		
	担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		県産品の販路拡大と地域ブランドの形成	
沖縄振興基本方針該当箇所				Ⅲ-1-(1)			
事業内容		本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の調査・ブラッシュアップを実施し、魅力を伝えるためのプロモーション、体験観光イベントの開催、地域との協働による受け入れ体制の仕組み創り、まち歩き等観光資源の商品プログラム作成を行う。					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a)当初予算額	10,000	10,000	19,684	19,440	19,438
	(b)予算現額	9,993	9,888	16,495	19,440	19,440	
	(c)増減額(b-a)	▲7	▲112	▲3,189	0	2	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	9,993	9,888	16,495	19,440	19,440	
	B.執行済額	9,993	9,888	14,393	19,367	18,667	
	うち交付金充当額	7,994	7,910	11,514	15,493	14,933	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	87%	99.6%	96.0%	
予算の状況の説明		概ね、予算通りの執行ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	県外観光プロモーションの実施 2回	目標	(3回)	(2回)	()	()	
		実績	2回	8回			
	誘客のための観光企画プログラムの作成 3個	目標	(3個)	(3個)	()	()	
		実績	2個	5個			
体験観光の実証イベント 1回	目標	(1回)	(1回)	()	()		
	実績	2回	1回				
達成状況説明		八重瀬町の観光資源の魅力を伝えるために八重瀬町の観光資源のポスターを作成し、広く町内外へPRを図った。さらに八重瀬町の魅力を発信するために秋と春に八重瀬八景フェスタを開催し地域内外へ八重瀬町をプロモーションを行った。受託事業者において八重瀬町へ修学旅行等を誘致するために発地である県外の旅行社やイベントにおいて精力的にプロモーションを行い、修学旅行等の傾向を調査して今後の受け入れ体制創りに役立てた。また、企業や関係団体の受け入れに視察プログラムを作成、モニタリングの実施及び体験滞在型観光を進めるにあたり町内を周遊する仕組みとして石獅子めぐりスタンプラリーのプログラムの作成、その他にも海洋プログラム、山の幸染めプログラム、周遊・体験バスツアープログラムを創り上げた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	体験観光の実証イベント 来客数 500人	目標	()	(500人)	(500人)		()
		実績		5,000人	6,200人		
	観光PR企画の実施 3回	目標	()		(3回)		()
実績				6回			
進捗状況説明		町内の観光資源の体験のみならず町外の観光資源と組み合わせで連携させ、誘客の仕組みが容易な運動公園全体を使って駐車場の確保を図ることにより地域内外の誘客を図り6200人の集客に繋がった。また、受託事業者において、多彩なターゲットに対してアプローチを図るために多種多様な企画を創り実施につなげた。発地である東京羽田空港を中心に沖縄県への観光客へ八重瀬町の観光パンフレットを直接配布するプロモーション、旅チャンネルで町を取り上げた放送、ハロウィンイベントの企画、女性向けサイト「ロリエプレス」にて八重瀬町女子旅を企画、そして、八重瀬町の観光資源の魅力を伝えるために八重瀬町の観光資源のポスター作成と、これを活用したイベント企画の計6回の観光PR企画を実施し、沖縄での八重瀬町への動機づけを効果的につなげることができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○八重瀬町が観光地として選ばれるように観光ブランドとして魅力を創り上げるためには、観光資源の魅力が伝わるようにターゲットに向けてアプローチの在り方を検証し、実践し続けることが重要である。	○八重瀬観光ブランドの魅力を一過性のものに終わらないように、継続して観光資源のプログラム化、更なるブラッシュアップの必要性及び観光ニーズを絶えず意識して継続した観光プロモーションの実施が不可欠。
	○観光ブランドとは内部での意思決定にとどまらず、外部からの認識により決定されることから観光プロモーションや発地である旅行社への観光客の傾向調査を行い、時代のニーズを捉えて、観光ブランドとしての差別化を図り、安心安全に受け入れる体制づくりが重要であることを認識した。	○八重瀬町の住民及び事業者が八重瀬ブランドを誇れるようなものとしてPRを図ることはもとより、集客を顧客に変えられるように町民及び事業者のおもてなし等の向上に努めること。

今後の取り組み方針
<p>・観光ブランドの魅力を創出するためには継続した取組の実施、地域住民の啓発が不可欠なので、平成28年度においても住民への八重瀬町観光資源の認知度向上と誇りの醸成を創り上げてきた。今後は、南の駅やえせがオープンしたことで八重瀬町を往来するレンタカーを利用する方々が一時休憩や滞在できる観光拠点施設ができたので、観光拠点施設を中心に八重瀬町を周遊していく仕組みづくりを行う。具体的には以下に掲げる事業を展開方針とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、観光ブランドを創り上げるための町民及び事業者との合意形成・協働による受け入れ体制創り 2、南の駅やえせの観光案内所を充実させ、既存の町内ガイドを育成し八重瀬町を周遊させる仕組みづくりを行う。 3、広域連携等も考慮した八重瀬町を体験滞在するための仕組みづくり 4、八重瀬町ブランドを構築させるための観光資源のブラッシュアップ及びコーディネート

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 用・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○観光振興による八重瀬町地域活性化の手法は多彩なアプローチがあり、それらを精査し判別するために企画提案方式による随意契約を行った。 ○予算規模は積算資料や見積等に基づいて決定しており、適正な規模と考えている。 ○費目、用途については完了段階で検査を実施しており、目的に則し、必要な事業費を精算した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②		八重瀬ブランド販路構築支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
	担当部課名	観光振興課		事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
事業内容		八重瀬町の地域資源を活用した八重瀬ブランドの構築と拡張のための取り組みを支援するとともに、小規模事業者であるブランド参画事業者を支援し全体的な底上げを図る。そして参画事業者の所得向上及び地域活性化を促すように、販路構築の支援を行う。					Ⅲ-1
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	9,975	9,912	9,956	10,800
		(b) 予算現額	10,000	9,975	9,912	9,956	10,800
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	10,000	9,975	9,912	9,956	10,800
	B. 執行済額		10,000	9,134	9,912	9,770	10,768
	うち交付金充当額		8,000	7,307	7,929	7,816	8,614
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	91.6%	100.0%	98.1%	99.7%
予算の状況の説明		八重瀬ブランドの販路拡大のため各種イベントやプロモーション、新たな八重瀬ブランド「八重瀬の旬」の構築、特産品の開発、参画事業者への専門家による指導助言を通じた事業者の育成を行い、当初通り予算を適正に執行した。不用額については入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	参画事業者の集中支援3社	目標	(3社)	()			
		実績	2社				
	中期実行計画に基づいたブランドイメージの再構築	目標	(再構築実施)	()			
		実績	再構築実施				
ブランド情報誌作成のための情報収集とパンフレット作成	目標	(収集・作成)	()				
	実績	収集・作成					
達成状況説明	ワークショップに参加した事業者から2社を選定、専門家の支援を受けながら開発、パッケージデザイン、品質管理、流通側とのマッチング支援を行った。なお活動目標では3社支援となっていたが、支援を希望した事業者が2社に留まったため、実績は2社となっている。 中期実行計画に基づき、町の農・水・畜産物、飲食、工芸をPRする新たなブランドイメージ「八重瀬の旬」を構築。町内事業者が有する地域資源について情報収集を行い、ブランド情報誌となる「八重瀬の旬コンセプトBOOK」を作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(32年度)
	新商品開発 2品	目標	()	(3品)	(3品)	(2品)	()
		実績		2品	8品	3品	
	八重瀬ブランドコンセプト製作	目標	()	()	()	(製作)	()
		実績				製作	
	ブランド発信情報誌の制作 1万部	目標	()	()	()	(10,000部)	()
		実績				10,000部	
	情報誌の設置(県内道の駅、店舗他)30ヵ所	目標	()	()	()	(30ヵ所)	()
		実績				102ヵ所	
	【参考指標】新規及び改良した商品の販売額	目標	()	()	()	(726千円)	(1170千円)
実績					0		
進捗状況説明	参画事業者への集中支援の結果、1社((株)沖縄南国フーズ)により「南国アグーメンチカツ」「南国アグーテンテキ」「南国アグーラード」と3品の新商品の開発となった。なお完成が事業期間終了間際であったことから、28年度の販売額は0となっている。もう1社の集中支援先(エルカミーノ)については県内百貨店(リウボウ)とのマッチングが成立し、期間限定の展示販売が決定した。 町内事業者・生産者に対する情報収集を行い、町の農・水・畜産物、飲食、工芸をPRする新たなブランドイメージ「八重瀬の旬」を策定。ブランド情報発信誌「八重瀬の旬コンセプトBOOK」を10,000部作成。当初、設置先を町外の道の駅・観光施設としていたが、ブランドイメージをより広範囲に発信すること、また町内を訪れる観光客への周知を図ることを目的に商業施設及び町内事業者の店舗を追加した。その結果、町外43ヵ所(うち県外10ヵ所)を含む102ヵ所へ設置したほか、町が関わる観光イベント等において配布を行った。またブランド情報発信及び販路構築の一環として、首都圏を中心に展開するセレクトショップ「ランキンランキン」において、これまでに本事業で開発した商品を中心に1か月の限定販売を行った。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○平成29年4月に供用開始した「観光拠点施設」について、事業者の出店・出品促進や施設を活用した販路拡大・ブランド発信施策の実施が急がれる。</p> <p>○参画事業者の大部分が小規模事業者であり、多角的な事業運営が困難である現状を考えると、自主努力・自立経営を基本としつつ引き続き開発・ブランディング・販路開拓を支援する必要がある。同時に現在は参画していない業種や、既に独自の販路を有する比較的規模の大きい事業者にも参画を呼びかけ、「八重瀬ブランド」として連携する必要がある。</p> <p>○本事業に関心を持った県内教育機関(高校・大学)より参画の申し出があったことから、何らかの仕組み作りが必要と考える。</p>	<p>○八重瀬町観光拠点施設を販路拡大の機会とし、積極的に活用する。</p> <p>○参画事業者の意欲を高め、自助努力をしながら自走に向けて専門家と共に指導助言を伴走しながら実施していく方法が最善と考える。</p> <p>○プロモーションについては、町が有する資源に適したターゲットを定めた上で取り組む必要がある。</p> <p>○販路拡大のため、流通に対応した商品の改良、流通側事業者とのマッチングの機会確保が必要。</p>

今後の取り組み方針

○新たに構築した八重瀬ブランド「八重瀬の旬」、及びこれまでのカラベジブランドについて、事業者・団体に対し積極的な活用を呼びかけ、ブランドイメージの拡大を図る。

○平成29年4月にオープンした「八重瀬町観光拠点施設」、アンテナショップを兼ねたキッチンカー、ブランド情報発信誌等を活用したブランドイメージの発信・プロモーションを行う。

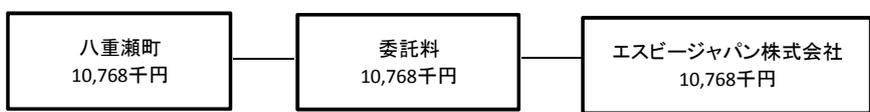
○販路拡大のため、特産品コンテスト等への出展やプレスリリースを行い、マスコミへの露出機会を増やす。また流通を想定した商品改良を支援し、町外事業者とのマッチングの機会を確保し取引業者数の増加を図る。

○町外事業者・教育機関等と町内事業者とのマッチングを通じ、新商品の共同開発・新規販路の開拓・PRを図る。

○地域全体の商品の価値の底上げを図るために必要な施策を実施し、参画事業者全体が地域ブランドとして八重瀬町の知名度向上を図り地域活性化につなげる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,768	10,768	8,614	2,154	0



八重瀬ブランドコンセプト製作、ブランド発信情報誌の作成・設置、販路構築ワークショップ、参画事業者の集中支援、セレクトショップ・イベント等を通じたプロモーション

資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、地方自治法施行令第176条の2第1項第2号に基づき、企画提案方式により事業者を公募したところ4社の応募があり、書面審査・プレゼンテーションの結果当該事業者を選定、契約を締結しており妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、業者見積もり等で決定しており、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	八重瀬町観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成26~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	八重瀬町の観光振興を推進するにあたり、観光施策を構築し積極的な観光プロモーションを実施するため、観光プロモーションの管理業務支援員の配置、発地への観光プロモーション等の旅費、観光パンフレットの作成を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,821	9,410	11,999		
		(b) 予算現額	9,821	14,019	11,276		
		(c) 増減額 (b-a)	0	4,609	▲ 723		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		9,821	14,019	11,276		
	B. 執行済額		6,674	14,019	11,276		
	うち交付金充当額		5,339	11,215	9,020		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		68.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		八重瀬町の観光プロモーションを強化するために、インバウンド向けに、観光パンフレットの作成やプロモーション支援員を2人配置した。事業目的は適正に達成されている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	プロモーション支援員 2人配置	目標	(2人)	()	()	()	
		実績	2人				
	多言語観光パンフレット作成	目標	(4か国語)	()	()	()	
		実績	4か国語				
観光プロモーション 2回	目標	(2回)	()	()	()		
	実績	2回					
達成状況説明	観光プロモーション支援員を2人配置し、やえせのシーちゃんを活用した効果的なプロモーションを展開し、各イベントにおいて観光プロモーション企画の運営管理を行った。また、インバウンド観光パンフレット4か国語16,000部の作成や東京で観光プロモーションを2回行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	30年度
	多言語観光パンフレットの設置 県内30か所	目標	()	(30か所)	(30か所)		
		実績		86か所	35か所		
	八重瀬町観光プロモーションの企画提案実施 5回	目標	()	(5回)	(5回)		
		実績			8回		
	県外観光客誘客プロモーション 2回	目標	()	(3回)	(2回)		
実績			2回	2回			
進捗状況説明	八重瀬町の観光情報を満載したインバウンド向け観光パンフレットを4か国語合計16,000部作成し、県内及び国外の観光施設等41か所に設置した。また広く町内外へ発信するために観光振興のための企画運営(SNS開設・運営及び雑誌、TVへの企画タイアップ等)を8回実施し、八重瀬町の観光プロモーションを行った。そして県外観光プロモーションとしてツーリズムEXPOジャパン【東京】に出展し、沖縄県最大最古の石彫大獅子ややえせの民俗芸能及び各種八重瀬町地域資源を観光PRを行い、また11月には渋谷周辺での観光及び販路拡大プロモーションを行った。						

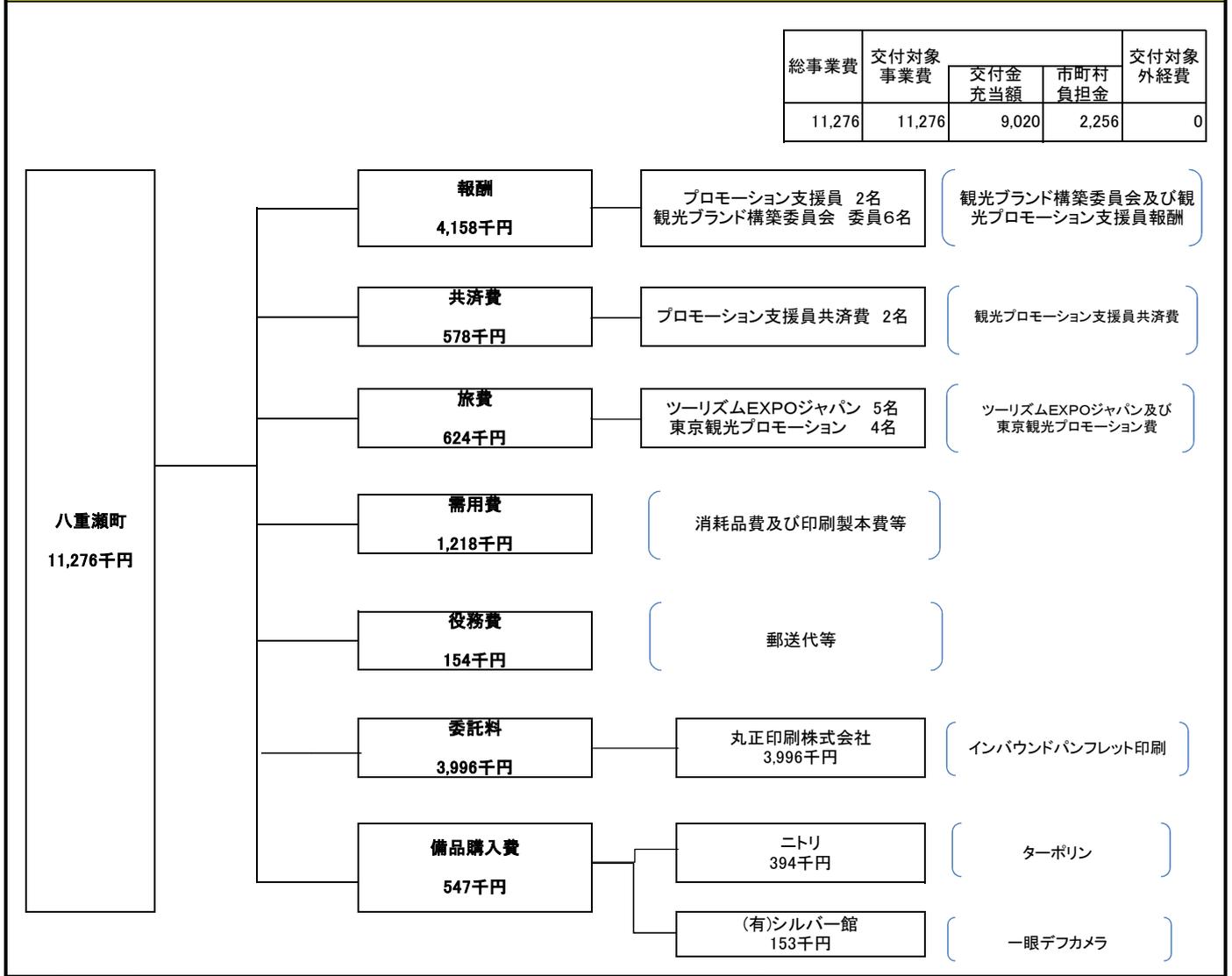
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>○より効果的な観光プロモーションを行うためには観光客がに届きやすい情報伝達の手段を選択する必要があるため、SNS、紙媒体等のプロモーションの企画・運営・管理・検証を行う必要がある。</p> <p>○外国人向けのパンフレットの制作上、外国人の嗜好、動機等考慮していく必要がある。</p> <p>○外部環境に大きく影響されるので常に最新の情報を考慮していく必要がある。</p>	<p>○八重瀬観光ブランドの構築が一過性のものに終わらないように、継続して観光資源のプログラム化、連携した取組、更なるブラッシュアップの必要性及び観光ニーズを絶えず意識して継続した観光プロモーションの実施が不可欠。</p> <p>○南の駅やえせを観光拠点として、周遊する仕組みづくりをガイドの会というしよにプログラム作成する。</p> <p>○観光プロモーションをするうえで重要なのは、併せて観光客の受け皿作りを行うことも重要なことであるため地域と連携しながら受け入れ体制を創り上げていく必要がある。</p> <p>○幅広いニーズを取り組むだけではなく、ターゲットを絞り八重瀬町の観光プロモーションを行う必要がある。また、近年増えてきている外国人旅行者を取り入れるためにもインバウンド向けに観光案内を行うための案内板等の充実を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

民俗芸能やイメージキャラクターを効果的に八重瀬町の観光PRに活用し、八重瀬町の観光ブランドを構築するために継続して以下の事業を行う。

- 1、沖縄県最大最古の石彫大獅子を観光振興に活用するために地域との合意形成及び仕組みづくりを行う。
- 2、南の駅やえせを拠点に周辺を周遊、体験滞在する仕組みづくりを行う。
- 3、プロモーション支援員においてSNS等を活用した一貫性のある観光の企画運営を積極的に行う。
- 4、民俗芸能を魅力あるプログラムにするため地域との合意形成、魅力を高めるための演出・構成・プロモーションを行い、積極的に観光イベント等に出展し、八重瀬町の観光PRを行う。
- 5、八重瀬町が観光地として受け入れられるように、地域資源や観光関連施設に対して必要な条件整備等を行う。
- 6、インバウンド向けに観光パンフレット及び観光サインの充実を図り効果的なPRを企画し観光振興を行う。
- 7、その他、観光ブランド構築にあたり必要な施策を委員会で諮り、関係機関と連携して実施を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○インバウンド観光パンフレットは企画提案方式により、厳正な審査を経て決定し、備品購入費については指名競争入札により一番安価なところに決定したので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は相見積により一番安価なところに選定しており妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精査し執行しており適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①		八重瀬町地産地消フェア事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ	
	担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化 Ⅲ-1-(6)
事業内容	農林水産業の振興を図るため、本町にて拠点産地に指定されている農作物等や畜産物・水産物及びそれらを使用した加工品等について、イベント開催を通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,000	4,000	4,000		
		(b)予算現額	4,000	4,000	4,000		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)繰越額	-	-	-		
		A.計(b+d)	4,000	4,000	4,000		
	B.執行済額		3,996	3,990	3,999		
	うち交付金充当額		3,196	3,192	3,199		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.9%	99.8%	100.0%		
予算の状況の説明		予算は、事業内容に即した適正額であったため、事業計画どおりの執行となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	地産地消まつり開催支援(2箇所)	目標	(開催支援)	(開催支援(2箇所))	(開催支援(2箇所))	()	
		実績	支援実施	支援実施(2箇所)	支援実施(2箇所)		
	農産物のPR	目標	(PR)	(PR)	(PR)	()	
		実績	PR	PR	PR		
	農産物の展示販売の実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
	達成状況説明	イベント開催を支援することで、会場整備及びイベント開催(伝統芸能、黒糖作り等)、チラシ作成等を行うことで、まつりの内容を充実し、このイベントを通じて展示販売を実施することで本町の農作物等の周知が図られた。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度
地産地消まつり来場者数(2,000人)		目標	()	(2,000)	(2,000)	(2,000)	()
		実績		2,900	3,900	3,700	
農産物の展示販売額(60万円)		目標	()	()	()	(60万円)	()
		実績				80万円	
進捗状況説明	地場産業(農作物、畜産、水産等)等のPRを図るため、地場産業を活用したイベント「八重瀬町地産地消まつり」を開催した。新聞折り込みだけでなく、各家庭にチラシ配布や近隣の店舗や公共施設にポスターの配布を行い、舞台イベントも去年より充実したこともあり、まつりには約3,700名(1回目:1,600名、2回目:2,100名)が訪れた。また農産物の展示販売を実施し、約80万円(1回目:30万円、2回目:50万円)の販売額があった。あいにくの天候で昨年よりも来場者数は減少したが、まつりに訪れた方は町内だけでなく、町外の方も見られた。八重瀬町の魅力ある彩り鮮やかな地場産物を効果的に発信することで、本町の農林水産業の活性化に繋がった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○開催日の調整(他のイベント等)や雨天時の検討(テントの設置等)を行っていたが天候が大荒れのためイベントの来場者数は減少した。</p> <p>○アンケートを実施し、昨年(214名)を大幅に上回る553名の回答があった。</p> <p>○駐車場の場所がわかりにくいので、改善が必要である。</p> <p>○地元の農水物をPRするため、魅力的な品物を多く出品する必要がある。</p>	<p>○天候に左右されない場所での開催を検討する必要がある。</p> <p>○アンケート結果の意見を反映できるように努める。</p> <p>○会場と駐車場の場所までの案内が不十分のため、明確な表示が必要である。</p> <p>○町内にしかチラシの折り込みを行っていない為、町外にも効果的に情報発信できる方法を検討する。</p>

今後の取り組み方針

○今まで開催していた場所よりも天候に左右されない場所でのまつり開催を計画している。

○2箇所で行っていたまつりを1箇所で開催可能か検討する。

○SNSを使った情報発信を行い、町内だけでなく町外にも広く伝わるように努める。

○魅力的な商品を出品できるように新たにまつりに参加してもらえる町内の団体や個人に呼びかけするように努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,999	3,999	3,199	800	0



(補助内容)
会場設営費(テント、ステージ等)
広報費(チラシ、横断幕等)
交通整理費、イベント費(舞台出演者)

資金の用途の流れ、費目・費用	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○実行委員の構成は地域団体関係者の委員会であり妥当である。</p> <p>○予算の規模は、事業内容に即した適正額であったため、事業計画通りの執行となっている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精査し執行しており適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	八重瀬町和牛改良支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産物の安全、安心の確立 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	農家の経営安定化、質の高い食用牛の改良を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。種雄牛の育種価の脂肪交雑がAランク以上の産肉能力が、導入時の体高が平均値以上または登録審査時の審査得点が80点以上を見込める雌牛の導入を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	(a)当初予算額	12,000	12,000	12,000			
	(b)予算現額	12,000	12,000	12,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0	0			
	(d)繰越額	-	-	-			
	A.計(b+d)	12,000	12,000	12,000			
	B.執行済額	11,902	11,598	11,734			
	うち交付金充当額	9,521	9,278	9,386			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	99.2%	96.7%	97.8%			
予算の状況の説明	予算は沖縄県農業協同組合への委託費用である。不用額266千円はセリにて雌牛を導入した際の残額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	優良母牛導入頭数:30頭	目標	(30頭)	(30頭)	(30頭)	()	
		実績	31頭	32頭	32頭		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成28年度に30頭導入の目標に対し、実績で32頭を導入したので活動目標を達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(30年度)	
	優良母牛導入率:60%	目標	()	(導入率20%)	(導入率40%)	(導入率60%)	(導入率100%)
		実績		導入率20.66%	導入率42%	導入率63%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成26~30年度で優良母牛150頭導入(100%)を行うが、平成26年度に31頭、平成27年度に32頭、平成28年度に32頭導入できた。成果目標の導入率60%に対し、実績では導入率63%達成できた。						

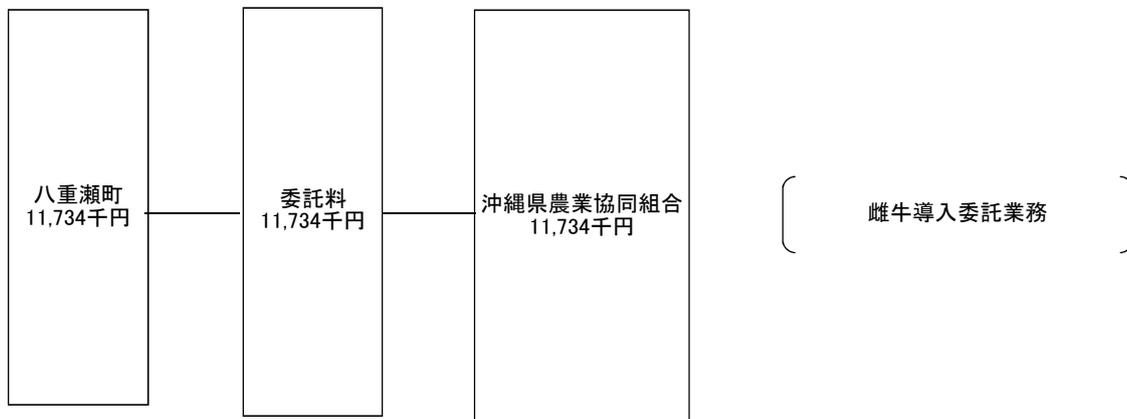
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・導入した雌牛の生産報告(実施状況報告)を年度末を目安に優良母牛貸付農家に提出してもらい、牛の管理を行っている。 ・毎月、優良母牛貸付農家に対して導入した雌牛の受精状況の聞き取り調査を行っている。 ・平成26～28年度に導入した優良母牛の中で、これまで4頭が獣医師による診断で繁殖障害とされた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産報告(実施状況報告)によって受胎率が低い雌牛については、優良母牛貸付農家に対して定期的に獣医師による受診を促し、受胎率の向上を目指す。

今後の取り組み方針

引き続き優良母牛の導入率を上げていき、毎月の受精状況の聞き取り調査を通して飼養管理や繁殖指導等を行っていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
11,734	11,734	9,386	2,348	0



資金の流 用途の流 れ、点 検、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先の選定方法は施行令167条の2第1項第1号にて随意契約により選定しており、妥当だったと考えている。 ・不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。 ・受益者には上限を超えた部分に関しては負担があり、他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ・費目、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	防災備蓄品整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成26年~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがあるため、災害に備え避難所に避難してきた住民に対し災害用トイレ袋、トイレトーパー、毛布等の備蓄品を供給できるようにする。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,155	2,332	3,530		
		(b) 予算現額	14,155	2,332	3,469		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 61		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		14,155	2,332	3,469		
	B. 執行済額		10,251	1,467	3,469		
	うち交付金充当額		8,200	1,173	2,774		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		72.4%	62.9%	100.0%		
予算の状況の説明		事業内容についてはすべて実施し順調に執行することができた。なお、予算減については、事業間流用によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	防災備蓄品の購入 ①災害用トイレ袋 4,000枚	目標	(4,000枚)	(4,000枚)	(4,000枚)	()	
		実績	4,000枚	4,000枚	13,700枚		
	②トイレトーパー 384個	目標	(432個)	(384個)	(384個)	()	
		実績	432個	384個	648個		
	③毛布 440枚	目標	(450枚)	(450枚)	(440枚)	()	
実績		450枚	450枚	550枚			
達成状況説明	防災備蓄品の目標数値については、町人口の約20分の1の数の3日分を目安とした計画であったが、算出基準としている人口(国勢調査人口)の更新に伴う目標数値の増を行い、非常用トイレ袋13,700枚(9,700枚増)、トイレトーパー648個(264個増)、毛布550枚(110枚増)を購入した。これらの備蓄品の整備を行ったことで大規模災害で孤立した場合でも物資の供給ができ、避難者の生命を守ることができるとともに避難所での混乱を防ぐことができる。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	目標備蓄に対する達成率(平成28年度)						
	①災害用トイレ袋 100%	目標	()	(33%)	(66%)	(100%)	()
		実績		33%	66%	100%	
	②トイレトーパー 100%	目標	()	(36%)	(68%)	(100%)	()
		実績		36%	68%	100%	
	③毛布 100%	目標	()	(33%)	(67%)	(100%)	()
実績			33%	67%	100%		
進捗状況説明	防災備蓄品の目標数値については、町人口の約20分の1の数の3日分を目安とした計画であったが、算出基準としている人口(国勢調査人口)の更新に伴う目標数値の増を平成28年度購入分で数量の調整を行ったことで更新に伴う不足が生じず最終目標数値を達成できた。【最終目標数値:非常用トイレ袋21,700枚(100%)、トイレトーパー1,450個(100%)、毛布1,450枚(100%)】						

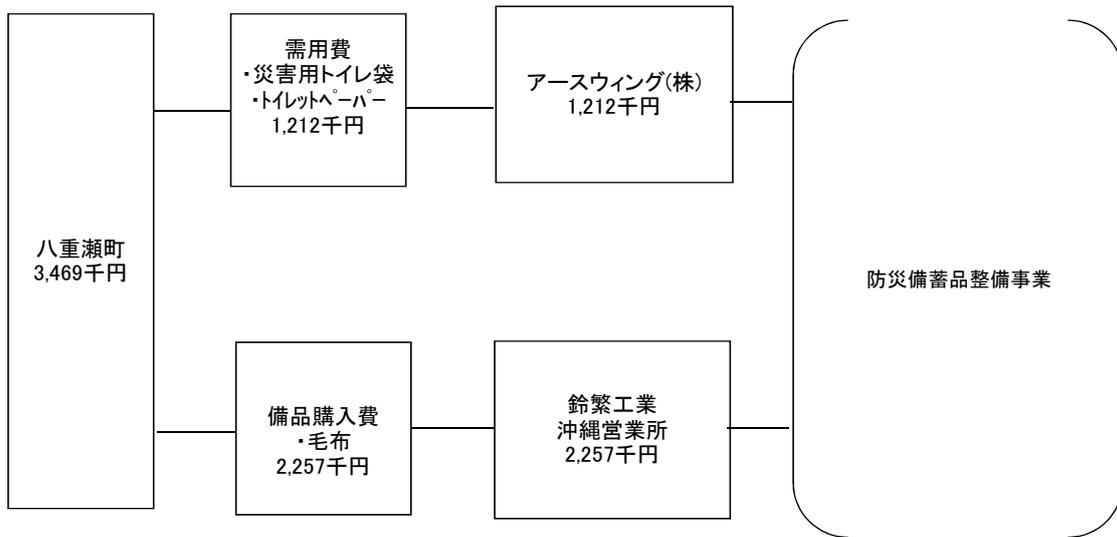
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本町では、地域防災計画で定める食糧・飲料水・生活必需物資等の備蓄について定めており、当初計画していた目標数値を達成することができた。</p> <p>今後は、災害時で不足するであろう簡易トイレ等について整備する必要がある。また、要配慮者のための介護用品、育児用品、女性用品等の物資の備蓄についても検討していく必要がある。</p>	<p>災害時用備蓄品については、社会情勢や住民ニーズなどの環境変化への対応も考慮した物資を整備していく必要があるため、必要物資の種類、数量等について検証を行い、計画的な物資備蓄ができるよう努める。</p>

今後の取り組み方針

- ・災害時に必要な物資の種類について検証を行い、新たな購入計画を作成し引き続き備蓄品の整備を行う。また、要配慮者等の物資については、計画的な数量把握は困難であると考えられることから、流通在庫備蓄を活用することを基本とし、災害時に必要量を調達できるよう民間団体等や大型スーパー等との協定の締結等を推進していく。
- ・整備した備蓄品を使用した避難訓練等について実施していく。
- ・災害物資が増えることを想定し、保管場所の整理及び新たな備蓄倉庫の検討を行う必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,469	3,469	2,774	695	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入業者は指名競争入札により選定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数業者見積を参照として設計額を算出しており、予算規模は適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精査しており適正執行であったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	避難誘導案内標識設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)	
	担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成28~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	住民や本町を訪れる観光客等の安心・安全を確保するため、八重瀬町に適した避難誘導案内標識の設置を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,140				
		(b) 予算現額	13,014				
		(c) 増減額(b-a)	▲1,126				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	13,014				
	B. 執行済額		13,014				
	うち交付金充当額		10,411				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業内容についてはすべて実施し順調に執行することができた。なお、予算減▲1,126千円については、事業間流用によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	設置箇所検討	目標	(設置箇所の検討)	()	()	()	
		実績	設置箇所の検討				
	表示内容の設定検討	目標	(表示内容の検討)	()	()	()	
		実績	表示内容の検討				
	案内標識の詳細設計	目標	(案内標識の詳細設計)	()	()	()	
実績		案内標識の詳細設計					
達成状況説明	住民や本町を訪れる観光客等の安心・安全の確保及び有事における円滑な避難誘導を実現するため、避難誘導案内標識の設置箇所を検討し、設置する標識の詳細設計を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	避難誘導案内標識設置に向けた設置箇所の決定	目標	()	(設置箇所の決定)	()	()	()
		実績		設置箇所の決定			
	詳細設計の決定	目標	()	(詳細設計の決定)	()	()	()
		実績		詳細設計の決定			
進捗状況説明	設置箇所については、机上にて検討した箇所、標識及び基本事項(設置箇所、設置方式、寸法、方向、種類、表記内容等)について現地調査を行い位置確認、設置位置の適切性等の確認を行い設置箇所の決定を行った。詳細設計については、表示内容及び設置箇所の検討を行った標識について、関連する避難標識規格を基本としたガイドラインに基づく詳細設計を行った。(詳細設計内容:①位置図作成 ②実施設計図 ③数量計算書 ④概算工事費)						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>町内には避難誘導標識が存在しないため災害有事における円滑な避難誘導を行うための案内標識設置が急務である。設置にあたっては設置位置の適切性、避難誘導標識のガイドライン等に基づく標識内容とするため、現地調査や表示内容について検討及び詳細設計を行った。</p> <p>災害有事における避難は、徒歩原則とされていることから標識設置にあたっては、基本的に歩道内の内側(車道反対側)としたことから歩道隣接の地権者との調整が必要な箇所もある。</p>	<p>歩道隣接の地権者との調整については、自治会長等を通じて説明することで、地権者の協力を得やすくなると考える。</p>

今後の取り組み方針

平成28年度に決定した設置箇所、設置方法及び詳細設計に基づき、平成29年度事業として避難誘導案内標識の設置工事を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,014	13,014	10,411	2,603	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入業者は指名競争入札により選定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数業者見積を参照として設計額を算出しており、予算規模は適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精査しており適正執行であったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

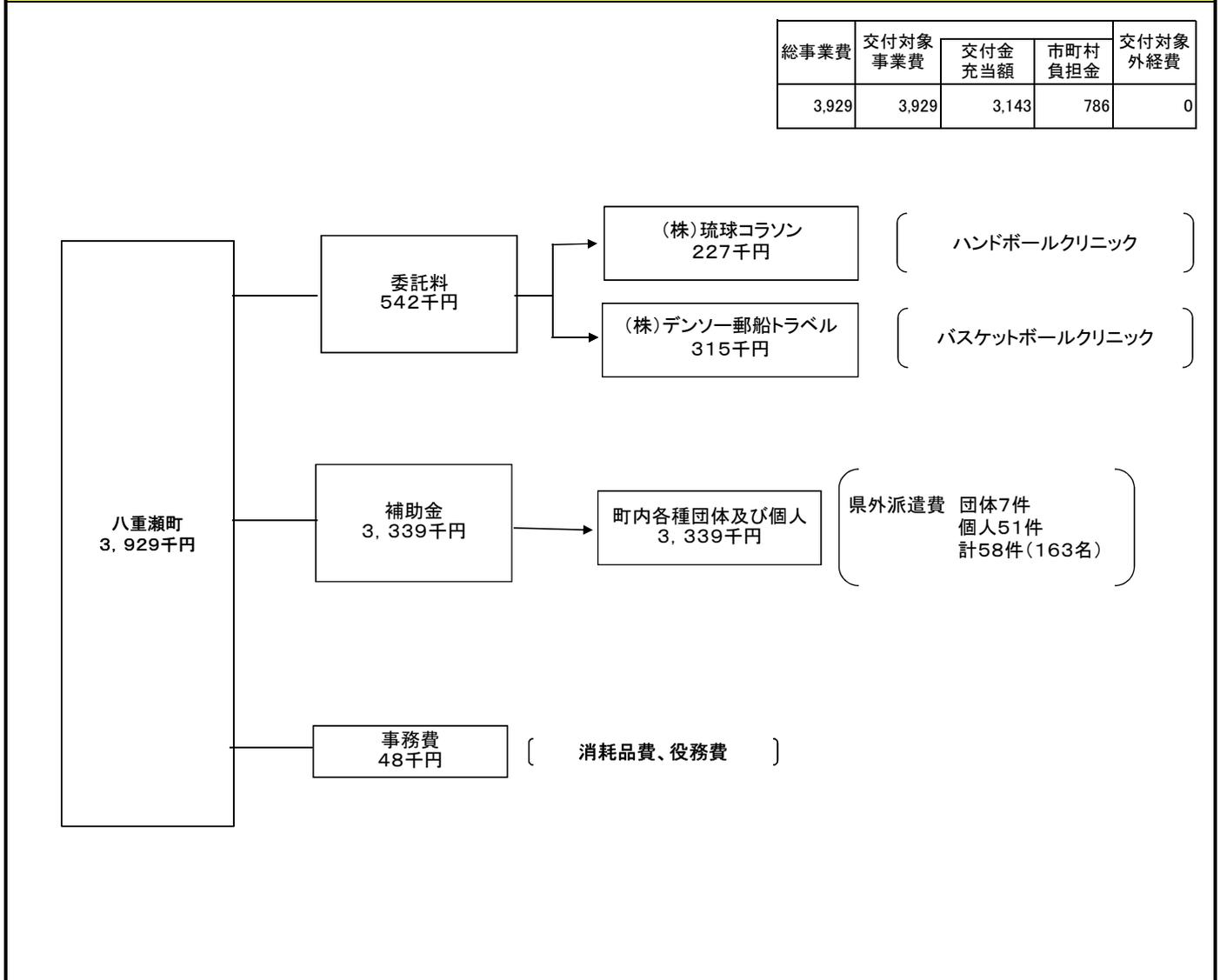
市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成27~29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手の旅費を支援する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,474	3,075			
		(b) 予算現額	5,153	5,358			
		(c) 増減額 (b-a)	1,679	2,283			
		(d) 繰越額	-	-			
		A. 計 (b+d)	5,153	5,358			
	B. 執行済額		4,835	3,929			
	うち交付金充当額		3,868	3,144			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		93.8%	73.3%			
予算の状況の説明		児童生徒派遣費を2,000千円補正にて増額。予算残の原因は、ハンドボールクリニックとバスケットボールクリニックを開催したが、両クリニックとも講師謝礼金はいらぬとのことだったので192千円は発生しなかった。また、児童生徒派遣費については、予定していた学校(軟式テニス)が県予選で敗退したため、件数を下回り、不用額662千円が生じている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	バスケットボールクリニックの開催	目標	()	(開催)	()	()	
		実績		開催			
	ハンドボールクリニックの開催	目標	()	(開催)	()	()	
		実績		開催			
	児童生徒の県外派遣費の助成	目標	(支援実施)	(助成実施)	()	()	
実績		支援実施	助成実施				
達成状況説明	トップアスリートによるスポーツ教室においては、国内ハンドボール実業団オムロンの選手による教室と、国内バスケットボール実業団デンソーの選手による教室を開催。児童生徒の県外派遣費の支援は、全体で58件行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	バスケットボールクリニックの実施	目標	()	実施(100名)	()	()	()
		実績		実施(137名)			
	ハンドボールクリニックの実施	目標	()	実施(100名)	()	()	()
		実績		実施(124名)			
	児童生徒の県外派遣費助成クリニック参加者数200名	目標	()	(200名)	()	()	()
		実績		424名			
進捗状況説明	バスケットボールクリニックを7月31日、午前は小学生を対象に、午後は中学生を対象に開催。午前は69名、午後は68名、合計137名の参加者がいた。 ハンドボールクリニックは5月21日に開催。目標100名を超える124名の参加者がいた。クリニック終了後選手によるファンサービス、熊本地震のチャリティー募金を行い、参加者、選手ともに充実したクリニックとなった。 児童生徒県外派遣費用に関する派遣支援については、団体7件(112名)、個人51件の支援を行った。町内の小中学生が九州・全国大会へ参加する事によりトップレベルの相手との交流・対戦をすることで、スポーツ促進になり、多くの技術・経験を学んだ。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>バスケットボールクリニックは、基礎から指導し、後半はゲーム感覚のパラントレーニングを実施。会場は終始笑いもあり、選手達は、楽しみながら指導していた。</p> <p>ハンドボールクリニックは、基礎の練習を中心に行った。クリニック終了後は、サイン会やチャリティー募金を行った。</p> <p>児童生徒県外派遣費用に関する派遣支援については、住民に広く周知することにより、昨年度より申請が多かった。今後も周知徹底を行いたい。</p>	<p>クリニックについては事前に学びたい事などを調査し、クリニックの内容に取り込めていければと思う。学びたい事を事前に知ることにより効果的なクリニックを行う。</p>

今後の取り組み方針

・平成29年度は、トップアスリートによるベースボールクリニックを開催。元プロ野球選手を講師として招き、事前に学びたいことを各チームの監督・コーチへ聞き取りを行い、クリニックの内容へ取り込む。児童生徒派遣費は現在同様に支援していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき、受託業者が、クリニックの趣旨に合致した業者である為、随意契約は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額の理由としては、予定していた講演会の日程が調整つかず、単費での開催となったため。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である町内各種団体及び個人は旅費の7割は負担しており妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	子育て世帯ゆいまーる支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ	
担当部課名	児童家庭課	事業実施(予定)年度	平成27～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化活動を支える基盤の形成 Ⅲ-3-4	
事業内容	各学童クラブの会計・事務の補助を行い、学童クラブ支援員が保育業務の向上を図れる環境を整える。各学童クラブの施設情報、空き状況の情報を管理し、窓口での情報提供体制を整える。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,582	2,106			
		(b) 予算現額	1,369	1,661			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 213	▲ 445			
		(d) 繰越額	-	-			
		A. 計 (b+d)	1,369	1,661			
	B. 執行済額		1,340	1,625			
	うち交付金充当額		1,071	1,300			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		97.9%	97.8%			
予算の状況の説明		支援員として保育士で予算確保を行っていたが、保育士の確保が難しく一般事務職を雇用したため445千円を補正減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	・各学童クラブへの会計、事務管理の支援	目標	(支援)	()	()	()	
		実績	支援				
	・施設情報、空き状況の情報管理 支援員の配置 1人	目標	(1人)	()	()	()	
		実績	1人				
達成状況説明	・支援員1名を配置し、学童クラブ(8カ所)の会計、事務の支援や学童クラブの施設環境、利用する子どもたちの状況把握等を行うことができた。 ・空き状況を把握し、窓口にてスムーズに住民に案内をすることができた。 ・学童クラブの代表を集めて毎月定例会を行い、運営などについての情報交換が行えた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	・児童クラブへの会計、事務の支援を行うことにより、児童クラブの指導員が利用者に対しゆとりを持ちながら児童の放課後の居場所づくりに取り組めるようにする。	目標	()	(支援情報提供)	()	()	()
		実績		支援情報提供			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	支援員が運営や会計の支援を行い、毎月の定例会にて情報交換等を行うことにより、指導員の保育業務向上を図ることができた。また、定例会や各クラブと頻りに連絡を取り合うことで、窓口にて空き状況やクラブの状況をスムーズに住民に案内する事ができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・支援員を配置し、必要な書類の整備や会計の処理を統一するために、税理士とともに取り組んではいるが、児童クラブの指導員が理解するには時間を要する状況である。</p> <p>また、人口増加のため利用希望者も増えており、待機児童が出ないようにクラブの入所状況の把握に取り組んだ。</p>	<p>・今後も指導員への負担軽減のため会計・運営事務補助に努めるが、税理士事務所とも連携しながら会計ソフト等の導入をすることにより、会計処理については改善が図られるのではないかと検討中である。</p>

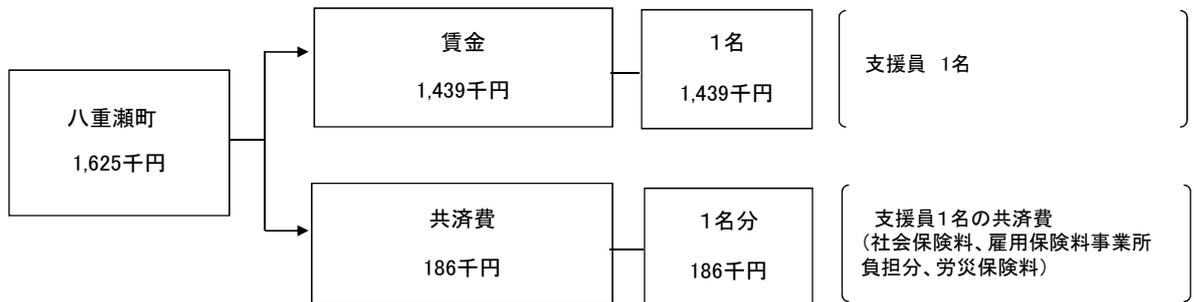
今後の取り組み方針

・各クラブが、支援員と税理士の指導のもと会計ソフト等を活用し、会計処理や事務をスムーズに行うことができるように取り組んでいく。

・支援員は、施設相互の情報交換や、窓口で住民への入所手続の案内や情報提供等を継続する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,625	1,625	1,300	325	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○賃金については、八重瀬町臨時職員の任用、給与、服務及び勤務条件等に関する規則に基づき支出しており妥当なものと考えている。 ○費目、用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類において確認をし適正であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

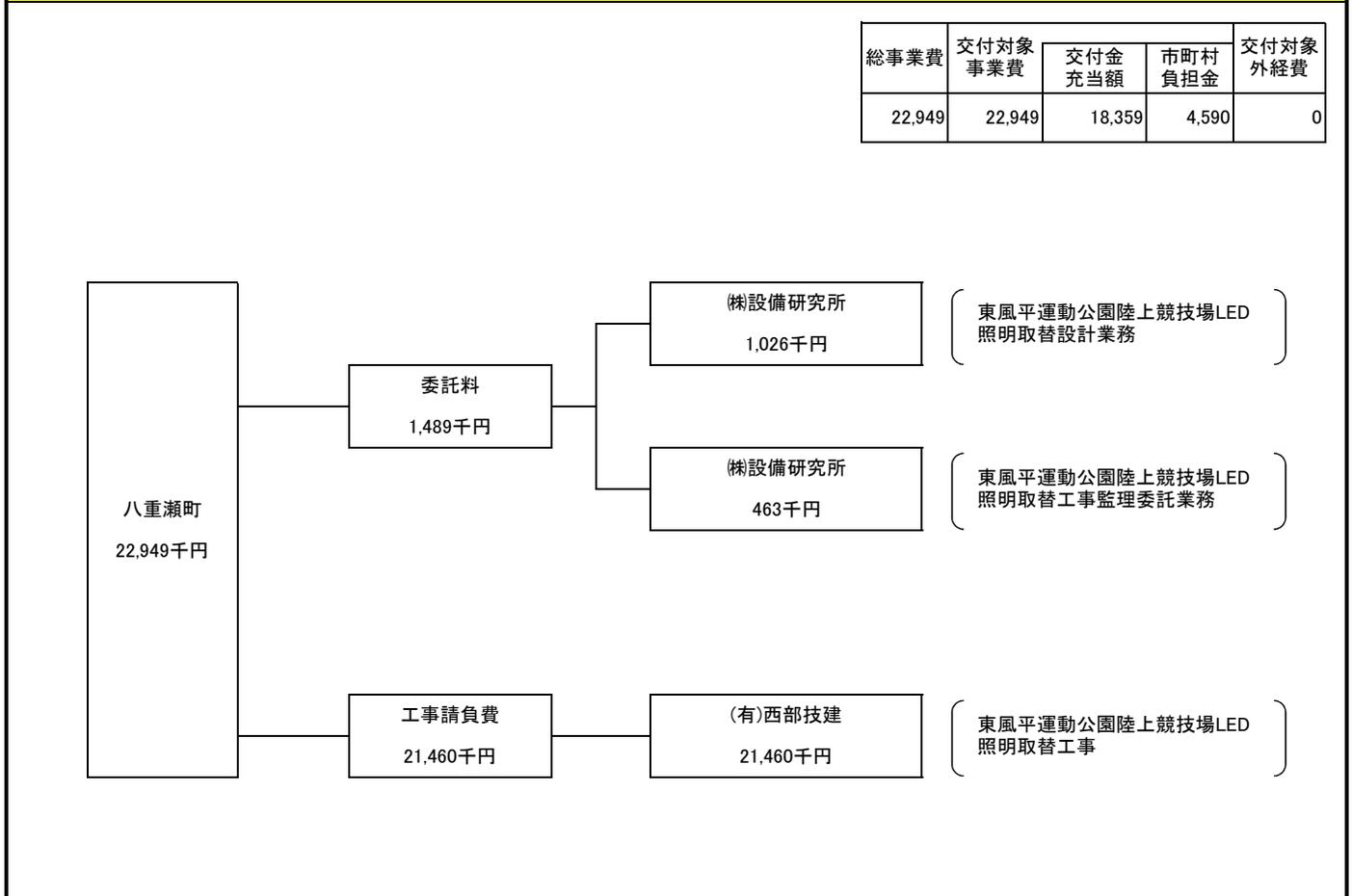
市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	運動公園省エネ化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア		
	担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成28~33年度	地球温暖化防止対策の推進		
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)		
事業内容	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため運動公園の照明設備をLED取替工事を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		32,000				
			23,157				
			▲ 8,843				
			-				
			23,157				
		B. 執行済額					
		うち交付金充当額	18,359				
		次年度繰越額	0				
		執行率 (%) (B/A)	99.1%				
	予算の状況の説明	当初予定では、LED照明への取替台数48台を予定していたが、実施において44台に変更を行ったため、委託費500千円と工事費8,343千円を減額した。不用額208千円については入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	東風平運動公園陸上競技場LED照明設置	目標	(設置1カ所)	()	()	()	
		実績	設置1カ所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	当初予定では、東風平運動公園陸上競技場のLED照明取替台数を48台予定していたが、実施において設計委託を行い、内容を精査したところ、LED照明の取替台数を4台減らし、LED取替工事及び工事監理委託にて44台のLED取替を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		28年度	29年度	30年度	31年度	目標値(29年度)
	(東風平運動公園陸上競技場) 電力費:約501,000円/年(約45.6%)削減	目標	(約501,000円/年(約45.6%))	()	()	()	()
		実績	約612,000円/年(約55.7%)				
	(東風平運動公園陸上競技場) CO2:約20.47t/年(約45.6%)削減	目標	(約20.47t/年(約45.6%))	()	()	()	()
		実績	約19.68t/年(約43.8%)				
進捗状況説明	成果目標および実績数値のCO2排出量については、環境省が公表している「電気事業者ごとのCO2排出係数等」を用いて、「年間消費電力量(W)×CO2排出係数(沖縄電力)=CO2排出量」算出を行った。運動公園のLED照明取替により、成果目標の二酸化炭素削減量、約20.47t/年削減(45.6%)に対し、実績数値約19.68t/年(43.8%)、電力費約501,000円/年(45.6%)に対し、実績数値約612,000円/年(55.7%)で概ね成果目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	LED照明取替設計業務のLED照明の選定において、品質等の明確な判断基準が無く、価格、消費電力、寿命等を比較し選定を行った。様々な種類のLED照明器具があり、選定に時間を要した。また、工事においても、LED照明器具は受注製造で納品まで時間を要したが、工期内に完了することができた。	LED照明の設計については、様々な種類のLED照明器具があり、技術革新が目覚ましい状況にあることから、短期間で器具性能や価格が大きく変動することが予想される。照明器具の選定については、比較検討を行い必要に応じ設計内容や積算内容の確認及び見直しを行いたい。LED取替工事についても、早期発注を行い事業効果の早期発現を図りたい。

今後の取り組み方針

地球温暖化の防止を図るため、運動公園の運営に伴い、排出される二酸化炭素について率先して削減し、環境への負荷の少ない、持続的な発展が可能な町をつくり上げていくため、「第二次八重瀬町役場地球温暖化対策実行計画」に基づき、引き続き照明設備をLED化していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○ LED照明取替設計業務及びLED照明取替工事は指名競争入札により選定、LED照明取替工事監理委託業務は地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に基づき、競争見積方式による随意契約を行っており適正である。</p> <p>○ 国土交通省の積算基準、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正であった。</p> <p>－ 受益者負担なし。</p> <p>○ 費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により精査確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	